高知大学考古学調査研究報告第７冊

高知県後期古墳資料集Ⅰ

2009年３月

高知大学人文学部考古学研究室

高知大学考古学調査研究報告第７冊

高知県後期古墳資料集Ⅰ

2009年３月

高知大学人文学部考古学研究室

例　言

1　本書は高知県内にある横穴式石室を中心とした資料集成である。

2　本書は高知大学学長裁量経費（学内拠点形成支援プログラム）「高知県中・東部地域古代遺跡データベース構築プログラム（研究代表者　清家章）」の成果の一部である。

3　高知県内古墳集成表は高知県教育委員会編集・発行1998年『高知県遺跡地図』高知県埋蔵文化財調査報告書第43集を底本とした。また、廣田佳久1995「高知の横穴式石室」『四国における横穴式石室の成立と展開』古代学協会四国支部第９回徳島大会資料を参考にした。

4　挿図のうち、図１～13の方位は真北を示し、その他の方位は磁北である。

5　図２～13は国土地理院２万５千分の１地形図を利用した。

6　図２～13上の番号は表１に対応。

7　図14～47の石室の番号は表１に対応。

8　本書の作成には、渡邊可奈子と矢部俊一の援助を得た。

9　本書の編集は、清家が行った。

目　次

第Ⅰ章　高知における古墳研究の動向……1
第Ⅱ章　高知県古墳一覧……5
第Ⅲ章　高知県横穴式石室集成……25

Ⅰ　高知における古墳研究の動向

1　高知県内における古墳分布の概要

西日本の中では土佐の古墳のあり方はきわめて特異である。現時点で土佐には確実な前方後円墳が存在しないが[(1)]、そうした地域は、前方後円墳の北限である岩手県より南では沖縄を除くと土佐に限られる。前方後円墳に限らずとも、古墳時代前・中期に遡る古墳は十指に満たないのが現状である。この点も、他地域では考えられないきわめて特殊な状況なのである。現在のところ前期にさかのぼる古墳としては宿毛市曽我山古墳・宿毛市高岡山古墳群が知られるのみであり、共に幡多地域に存在する。中期古墳は南国市狭間古墳と南国市長畝２号墳等が知られるに過ぎない。

土佐は山間部が多い上に開発も少なかったため、調査が全域に行き届いているとは言い難く、そのため未知なる前方後円墳や前・中期古墳が存在する可能性は捨てきれないところである。しかしながら、今後調査が進み、そうした古墳が確認されたとしても現状が大きく変わる事はないであろうと思われる。古墳時代前・中期に古墳がきわめて少ないという特異な現象がなぜ土佐に認められるのかという点は、古墳時代研究にとって重要な課題である。出原恵三はこの問題に積極的に取り組み、青銅器と前期古墳の分布を比較して、銅鐸に代表される伝統的規制が前方後円墳の築造を妨げる要因であったと考えている（出原1993）。興味深い仮説だが、銅鐸が内部矛盾を押さえ込む伝統的規制となりえたかどうかはさらなる論証が必要であろう。

その一方で土佐には、高知平野を中心に横穴式石室を埋葬施設とする後期～終末期古墳が約200基存在することが知られている。横穴式石室墳は、仁淀川から物部川に挟まれた平野部とそれを取り巻く山麓に数多く存在する。その中でも南国市・香美市（旧土佐山田町）に分布の集中が見られる。物部川東岸の香南市に古墳は多いが、それより東では古墳の分布は点的に存在するに過ぎない。仁淀川より西では、黒潮町（旧大方町）と四万十市（旧中村市）に数基の石室があるだけで、仁淀川から黒潮町までの広大なエリアに横穴式石室空白地帯がある。きわめて偏った分布状況が認められるのである。

2　高知における後期古墳研究と課題

高知県における本格的な古墳研究は、『高知県の考古学』ならびに『高知県史』が編纂されたことに始まると言って良い（岡本1966・1968）。発行年が30年以上前に遡るために精密な図面は少ないが、とくに『高知県史』には石室実測図が数多く掲載された。これが今日に至っても後期古墳研究の基礎資料となっており、本書もこれらの図書から多くの図面を収集している。岡本健児は、こうした資料を基に横穴式石室をまず３型式に分類し（岡本1966：pp.128～183）、後に11型式に細分している（岡本1968）。岡本の分類は、いくつかの異なる系統の石室を一つにまとめたりする点や、原始・古代の土佐の後進性を鑑みて古墳の時期を相対的に新しくする点で、現在の視点からみれば再考するべき箇所があるものの、資料を集成し石室研究の

礎を築いた点や土佐の古墳研究の端緒を開いた点は高く評価すべきである。また、廣田典夫は、南国市小蓮古墳・香美市伏原大塚古墳などの大型の後期古墳を調査し、高知県における首長墳の内容を明らかにするとともに（廣田典1972・1984など）、高知県出土須恵器を集成し後期古墳研究の礎を築いた（廣田典1991）。廣田佳久は、土佐における須恵器の地域編年を進めるとともに、高知の横穴式石室の大まかな動向を明らかにしている（廣田佳1995）。廣田論文（廣田佳1995）は、研究会の発表資料であったため短文であるが、高知県の後期古墳の流れを正確に捉えている点や畿内型横穴式石室が他の四国三県に比して多く認められることなど、現在でも有効な指摘を数多く行っている。

横穴式石室の系譜についてはいくつかの見解が示されている。橋本達也は四国の横穴式石室の系譜を考察する中で、高知県における横穴式石室の系譜関係の概要を示している（橋本2001）。枡家豊は、高知平野における古墳の階層差に着目すると同時に、高知県における初期の横穴式石室の系譜を明らかにしようとした（枡家2007）。また、東潮は、徳島県海陽町の大里２号墳石室と高知の横穴式石室が類似していることを説き、太平洋に面した交通関係の存在を指摘している（東1997）。

さらに近年、清家は高知県の古墳調査を進め、基礎的資料の整備を進めると同時に首長の動向や高知平野内での首長間の関係を問うている（清家2006・2007）。

このように高知県の後期古墳研究はようやく前に進みつつある。ただ、その歩みは遅い。調査された古墳が数少ないことにその大きな原因があると思われる。今後、なによりも基礎資料の充実が求められよう。

注

（１）近藤義郎編1991『前方後円墳集成』中国・四国編においては、宿毛市曽我山古墳と香美市伏原大塚古墳が前方後円墳として記載されているが、伏原大塚古墳はその後の調査によって方墳であることが明らかとなり、近藤編2000『前方後円墳集成』補遺編では、集成から取り消されている。曽我山古墳は古くに墳丘が失われ、安岡源一と橋田庫欣の略測と周辺の地形から前方後円墳の可能性が指摘されたのだが、墳形については疑問視する見解が多い（廣田佳1996・橋本2000）。

参考文献

東　潮　1997「大里２号墳をめぐる諸問題」『海南・大里２号墳発掘調査報告書』海南町教育委員会、徳島：pp.66-83

岡本健児　1966『高知県の考古学』吉川弘文館、東京

岡本健児　1968『高知県史』考古編　高知県、高知

近藤義郎編　1991『前方後円墳集成』中国・四国編　山川出版社、東京

近藤義郎編　2000『前方後円墳集成』補遺編　山川出版社、東京

清家　章　2006「まとめと若干の考察」高知大学考古学研究室編『南国市における大型後期古墳の調査』高知大学考古学調査研究報告第３冊　高知大学人文学部考古学研究室、高知：pp.23-29

清家　章　2007「高知平野における大型後期古墳の動向」『考古学論究－小笠原好彦先生退任記念論集－』 真陽社、京都：pp.447-464

出原恵三　1993「弥生から古墳へ －前期古墳空白地域の動向－」『考古学研究』第40巻第２号　考古学研究会、岡山：pp.119-139

橋本達也　2000「四国における古墳築造の動態」『前方後円墳を考える』古代学協会四国支部第14回大会研究発表要旨集　古代学協会四国支部、徳島：pp.17-42

橋本達也　2001「四国における後期古墳の展開」『東海の後期古墳を考える』東海考古学フォーラム、愛知：pp.93-102

廣田典夫　1972「高知県南国市小蓮古墳」『古代学研究』第65号　古代学研究会、大阪：pp.24-28

廣田典夫　1984「高知県土佐山田町大塚古墳」『古代学研究』103号　古代学研究会、大阪：29-32

廣田典夫　1991『土佐の須恵器』四国考古学叢書２、高知

廣田佳久　1995「高知の横穴式石室」『四国における横穴式石室の成立と展開』古代学協会四国支部第九回徳島大会資料　古代学協会四国支部、徳島：pp.80-95

廣田佳久　1996「南四国の前半期古墳」『遺跡』第35号、愛媛：pp.107-116

枡家　豊　2007「高知平野における横穴式石室の系譜と階層構造」『海南史学』45号　高知海南史学会、高知：pp.1-12

Ⅱ　高知県古墳一覧

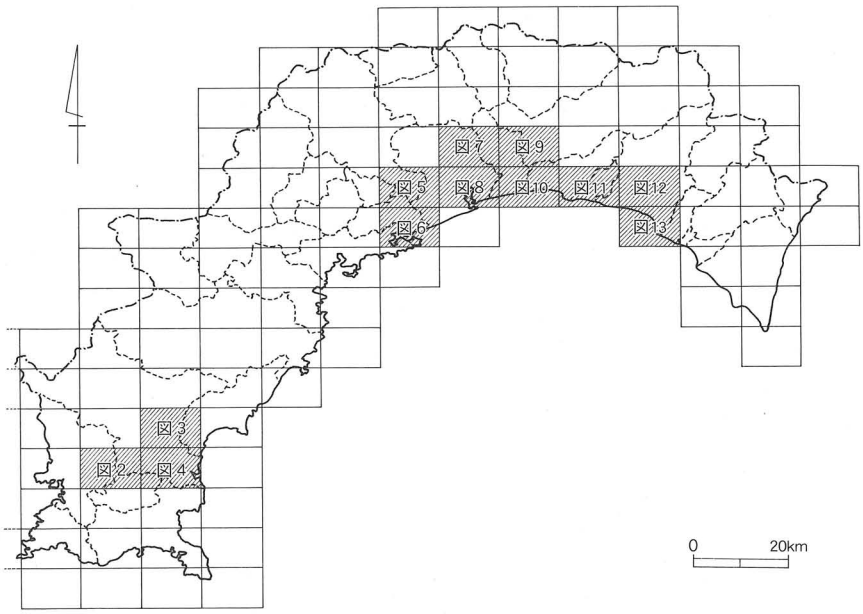


図１　地図の範囲

表１　高知県古墳一覧

番号	古墳名	墳形	墳丘規模	所在地	出土遺物	出典	備考
0001	宮ノ谷古墳			土佐市高岡町鳴川字宮ノ谷			
0002	枝川1号古墳	円	10	吾川郡いの町枝川字石ヶ崎3132	須恵器2/ 玉8/ 銀環1/ ガラス製小環 / 刀子2/ 鞘破片2/ 茎1	岡本健児ほか『枝川古墳群』伊野町教育委員会、1985年。	
0003	枝川2号古墳			吾川郡いの町枝川字坂屋2111	須恵器5/ 鉄鏃片1	岡本健児ほか『枝川古墳群』伊野町教育委員会、1985年。	
0004	枝川3号古墳			吾川郡いの町枝川字坂屋2331	須恵器	岡本健児ほか『枝川古墳群』伊野町教育委員会、1985年。	
0005	勘平山古墳			高知市朝倉字北針木小字岩朧道ノ上			
0006	行宮森古墳			高知市朝倉字行宮森915			
0007	ウグルス山古墳			高知市鵜来巣字ウグルス山1493			
0008	朝倉古墳			高知市朝倉字宮の奥小字三月田2100-10		高知大学考古学研究室2005『朝倉古墳測量調査報告書』	2004 測量調査 高知大学 / 2008 発掘調査 高知大学
0009	塚ノ原1号墳	円	12	高知市塚ノ原字左宗114	須恵器・刀子・耳環	岡本健児ほか1980『高知市塚の原古墳群』高知市文化財調査報告書第２集　高知市教育委員会。	
0010	塚ノ原2号墳			高知市塚ノ原字カリヌ214-2			
0011	秦泉寺仁井田神社裏古墳			高知市北秦泉寺字仁井田363-2		岡本健児1966『高知県の考古学』吉川弘文館。	
0012	一宮2号古墳			高知市一宮字大塚1801-1			
0013	舟岡山古墳			高知市神田字舟岡山317-3			
0014	高座古墳	円	10	高知市神田字東高座1703			2008年、高知市史測量調査。
0015	小石木古墳			高知市小石木町			
0016	福井古墳			高知市福井町字栗ノ木橋			
0017	宇津野2号古墳			高知市宇津野102			
0018	宇津野1号古墳			高知市宇津野64			
0019	秦泉寺新屋敷古墳			高知市中秦泉寺字新屋敷			
0020	吉弘古墳			高知市北秦泉寺字吉弘262-1			0194秦泉寺開古墳と同じ。
0021	日の岡古墳			高知市北秦泉寺			
0022	秦小学校校庭古墳			高知市愛宕山18-1			
0023	愛宕神社裏古墳			高知市愛宕山121-1			
0024	愛宕不動堂前古墳			高知市愛宕山141-1			
0025	土居の前古墳			高知市秦泉寺字土居の前			
0026	淋谷古墳			高知市北秦泉寺字淋谷741			
0027	宮ノ谷古墳			高知市介良			
0028	高間原10号古墳	円	12	高知市大津字塚の元	須恵器1/ 刀1	廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書1	
0029	高間原1号古墳	円	6.4	高知市大津字大谷	須恵器6/ 土師器破片2/ 玉類3/ 鎌1/ 鉄鏃12/ 鉄刀1	廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書1	
0030	高間原2号古墳	円	11	高知市介良字甲間原	須恵器7/ 銀環1/ 鉄鏃1/ 刀子2	廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書1	
0031	高間原3号古墳	円	10	高知市介良字甲間原	須恵器2	廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書1	
0032	高間原4号古墳			高知市介良字甲間原			
0033	高間原11号古墳			高知市大津字備右岩			
0034	高間原9号古墳			高知市介良字高間原			

番号	古墳名	墳形	墳丘規模	所在地	出土遺物	出典	備考
0035	高間原5号古墳			高知市介良字高間原	須恵器3	廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書1	
0036	高間原6号古墳	円	9	高知市介良字高間原	須恵器9・鉄鏃1	廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書1	
0037	高間原8号古墳			高知市介良字高間原			
0038	高間原7号古墳			高知市大津高間原			
0039	六郎山古墳			高知市大津字塚の元1045			
0040	小奈路古墳			高知市大津字小奈路	須恵器蓋2/壺3/提瓶1/鉄斧1/鉄鎌2/鉄鏃5/鉄刀子1	岡本健児・廣田典夫「小奈路古墳とその遺物」『土佐史談』復刊44号、通刊123号	
0041	三ツ塚下古墳	円		高知市大津字三ツ塚	須恵器／金環／管玉	岡本健児1966『高知県の考古学』吉川弘文館。	高天原古墳。
0042	三ツ塚中古墳			高知市大津字三ツ塚			
0043	三ツ塚上古墳			高知市大津字三ツ塚			
0044	布師田2号古墳			高知市布師田字西谷			
0045	布師田1号古墳			高知市布師田字西谷			
0046	芝の前1号墳			南国市岡豊町定林寺字芝の前			
0047	芝の前2号墳			南国市岡豊町定林寺字芝の前			
0048	芝の前3号墳			南国市岡豊町定林寺字芝の前			
0049	長畝古墳			南国市岡豊町定林寺字長畝			
0050	長畝2号墳	円	10	南国市岡豊町定林寺字長畝	剣・鏃・鎌・鍬・斧・刀子	廣田佳久編1996『長畝古墳群』高知県文化財団埋蔵文化財センター	
0051a	長畝3号墳	円	12	南国市岡豊町定林寺字長畝	鉄鏃	廣田佳久編1996『長畝古墳群』高知県文化財団埋蔵文化財センター	
0051b	長畝4号墳	円	10	南国市岡豊町定林寺字長畝	鏃・轡・鎌・鍬・斧・刀子・耳環・玉類・須恵器	廣田佳久編1996『長畝古墳群』高知県文化財団埋蔵文化財センター	
0052	野津古古墳			南国市岡豊町字野津古			
0053	小蓮古墳	円？	?	南国市岡豊町小蓮字光り岩	鉄地金銅張馬具・須恵器・鉄鏃・刀子・耳環・ヤリガンナ・中空玉。	廣田典夫1972「高知県南国市小蓮古墳」『古代学研究』65。高知大学考古学研究室2006『南国市における大型後期古墳の調査』。	
0054	小蓮2号墳			南国市岡豊町小蓮字光り岩			
0055	小蓮3号墳			南国市岡豊町小蓮字光り岩			
0056	小蓮4号墳			南国市岡豊町小蓮字光り岩			
0057	天神ノ前古墳			南国市岡豊町小蓮字天神ノ前			
0058	舟岩17号墳			南国市岡豊町小蓮字池谷			
0059	蒲原山中古墳			南国市岡豊町			
0060	蒲原山東1号墳	円	15	南国市岡豊町	須恵器／鉄斧／鉄刀子／ヤリガンナ／鎌／鉄鏃／馬具／銀環／管玉／小玉	廣田典夫1979「南国市蒲原山東1号・2号古墳の調査概要」『高知県文化財調査報告書』第22集高知県教育委員会。	
0061	蒲原山東2号墳	円	12	南国市岡豊町	須恵器	廣田典夫1979「南国市蒲原山東1号・2号古墳の調査概要」『高知県文化財調査報告書』第22集高知県教育委員会。	
0062	中山田古墳			南国市久礼田字中山田			
0063	鯛ノ骨1号墳			南国市久礼田字鯛ノ骨			
0064	鯛ノ骨2号墳			南国市久礼田字鯛ノ骨			

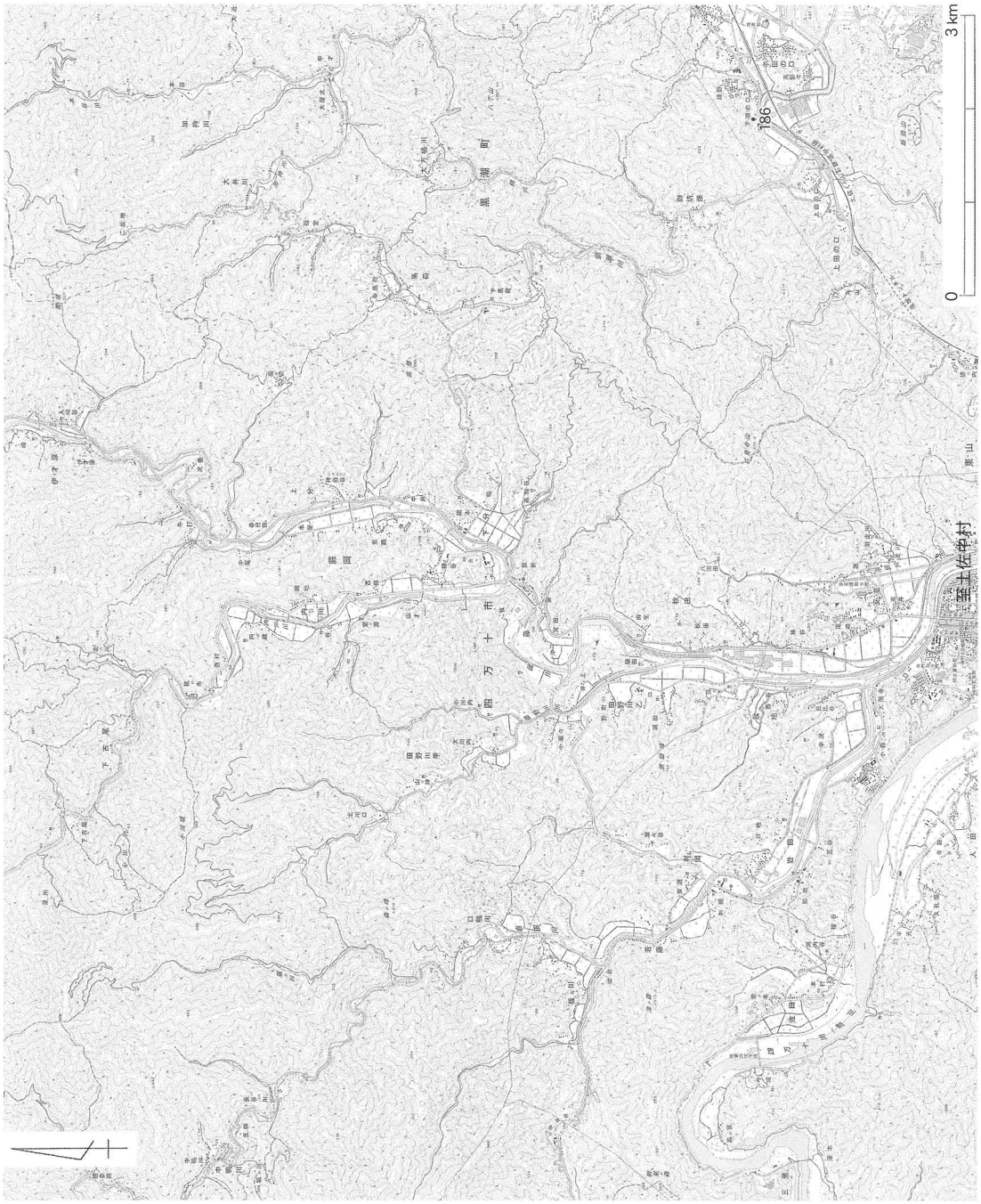
番号	古墳名	墳形	墳丘規模	所在地	出土遺物	出典	備考
0065	口ミノヲ谷古墳			南国市領石字口ミノ尾谷		森田尚宏1974『口ミノヲ谷古墳』高知県教育委員会	
0066	牛月古墳			南国市領石字牛月			
0067	笹原古墳			南国市領石字笹原			
0068	長源古墳			南国市岡豊町笹ノ川東村字長瀬			
0069	寺家古墳			南国市岡豊町笹ノ川字土家			
0070	柳ヶ首古墳			南国市岡豊町笹ノ川柳ヶ首			
0071	朧戸古墳			南国市岡豊町笹ノ川朧戸696			
0072	西村古墳			南国市岡豊町笹ノ川西村			
0073	舟岩1号墳			南国市岡豊町小蓮字舟岩	土師器1/ 須恵器16/ 金環3/ 銀環7/ 丸玉1/ 刀1/ 鏃4/ 刀子2/ 馬具	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0074	舟岩2号墳	円	8.5	南国市岡豊町小蓮字舟岩	須恵器30以上 / 銀環2/ 鍔1/ 鏃8/ 刀子4/ 轡 / ヤリガンナ1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0075	舟岩3号墳	円	10.5	南国市岡豊町小蓮字舟岩	須恵器14/ 銀環2/ 鍔2/ 鉄鏃3/ 刀子1/ 轡1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0076	舟岩4号墳	円	10	南国市岡豊町小蓮字舟岩	須恵器6/ 土師器5	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0077	舟岩5号墳	円	9.3	南国市岡豊町小蓮字舟岩	土師器6/ 須恵器23/ 銀環2/ 管玉1/ 刀1/ 刀子1/ 鉄鏃8/ 轡1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0078	舟岩6号墳	円	11.5	南国市岡豊町小蓮字舟岩	土師器3/ 須恵器1/ 銀環3/ 玉類7/ 鉄鏃6/ 馬具飾金具1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0079	舟岩7号墳			南国市岡豊町笹ノ川大平山		岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0080	舟岩8号墳	円	12.5	南国市岡豊町笹ノ川大平山	土師器2/ 須恵器18/ 金環1/ 銀環5/ 刀2/ 刀子4/ 鉄鏃10/ 馬具飾金具2/ 砥石1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0081	舟岩9号墳	円	10	南国市岡豊町笹ノ川大平山	土師器7/ 須恵器11/ 金環4/ 刀子2/ 轡残片1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0082	舟岩10号墳		10.7	南国市岡豊町笹ノ川大平山	土師器片4/ 須恵器片5/ 鍔1/ 鉄鏃7/ 馬具飾金具	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0083	舟岩11号墳	円	12.8	南国市岡豊町笹ノ川大平山	土師器2/ 須恵器11/ 銀環2	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0084	舟岩12号墳	円	8	南国市岡豊町笹ノ川大平山	須恵器4/ 銀環2/ 刀1/ 鉄鏃1/ 轡1	岡本健児1968『高知県舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会。	
0085	舟岩13号墳			南国市岡豊町笹ノ川字船岩			
0086	舟岩14号墳			南国市岡豊町小蓮字舟岩		岡本健児1986『高知県史』考古編	
0087	舟岩15号墳			南国市岡豊町笹ノ川		岡本健児1986『高知県史』考古編	
0088	舟岩16号墳			南国市岡豊町笹ノ川字舟岩			

番号	古墳名	墳形	墳丘規模	所在地	出土遺物	出典	備考
0089	狭間１古墳			南国市岡豊町小蓮狭間			
0090	米内古墳			南国市岡豊町八幡字米内			
0091	蔵本1号墳			南国市岡豊町八幡字蔵本			
0092	蔵本2号墳	円		南国市岡豊町八幡字蔵本	須恵器片4/ 土師器片20/ 勾玉1/ 土玉1	森田尚宏『蔵本2号墳』南国市埋蔵文化財調査報告第8集　南国市教育委員会、1989年。	
0093	左右山古墳			南国市左右山字ハザマ山			詳細不明。
0094	国分大塚古墳			南国市国分字大塚			
0095	三畠山古墳			南国市三畠字三畠山			
0096	陣山古墳			南国市陣山			
0097	西の久保古墳	円	10.8	香美市土佐山田町久次字西久保		廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	久次西久保古墳
0098	次郎ヶ谷西古墳			香美市土佐山田町新改上改田			
0099	次郎ヶ谷古墳			香美市土佐山田町新改上改田			詳細不明。
0100	田村氏古墳			香美市土佐山田町新改上改田300			
0101	亀ヶ谷1号墳			香美市土佐山田町新改上改田			
0102	亀ヶ谷2号墳			香美市土佐山田町新改上改田			
0103	椎山1号墳			香美市土佐山田町新改横走913	須恵器／銀環／管玉／勾玉／小玉／馬具／鉄鏃	廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	
0104	椎山2号墳			香美市土佐山田町新改横走913			
0105	新改古墳			香美市土佐山田町新改横走		廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	
0106	新改2号墳			香美市土佐山田町新改横走			
0107	新改3号墳			香美市土佐山田町新改横走			
0108	新改4号墳			香美市土佐山田町新改横走			
0109	西ノ内1号墳			香美市土佐山田町新改横走913		廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	
0110	西ノ内2号墳	円	7	香美市土佐山田町新改横走913	須恵器8/ 土師器5/ 土師器破片／刀子2/ 石突1/ 鉄鏃3/ 鋲2	岡本健児「高知県香美郡土佐山田町西ノ内二号墳発掘調査報告」『高知県文化財調査報告書』第9集高知県教育委員会、1958年。	
0111	小山田1号墳			香美市土佐山田町小山田505			
0112	小山田2号墳			香美市土佐山田町小山田511-2			
0113	入野古墳			香美市土佐山田町入野字津ノ宮			
0114	須江塚穴古墳			香美市土佐山田町須江字大塚71-1他	須恵器・耳環・馬具片	中山泰弘編2002『須江ツカアナ古墳』土佐山田町埋蔵文化財発掘調査報告書第20集　土佐山田町教育委員会。	
0115	段貫古墳			香美市土佐山田町植字タンガン1119-2他			
0116	前山1号墳			香美市土佐山田町植字マエヤマ			
0117	前山2号墳			香美市土佐山田町植字マエヤマ			
0118	前山3号墳			香美市土佐山田町植字マエヤマ			
0119	深坂古墳			香美市土佐山田町植字ヲリフカサコウエ			
0120	中沢古墳			香美市土佐山田町楠目字青サレ山			
0121	溝渕古墳			香美市土佐山田町楠目字青サレ山			
0122	桜ヶ谷古墳			香美市土佐山田町楠目字桜ヶ谷			
0123	杖坂東古墳			香美市土佐山田町植字杖坂1238			
0124	前行山1号墳			香美市土佐山田町楠目前行3645-1	須恵器台付椀／台付直口壺	廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	

番号	古墳名	墳形	墳丘規模	所在地	出土遺物	出典	備考
0125	前行山2号墳			香美市土佐山田町楠目前行3645-1			
0126	神母古墳			香美市土佐山田町楠目前行大元			
0127	大元神社古墳			香美市土佐山田町楠目字青サレ山	須恵器	高知大学考古学研究室編2008『大元神社古墳発掘調査報告書』	
0128	大元神社北古墳			香美市土佐山田町楠目字青サレ山		高知大学考古学研究室編2006『大元神社古墳測量調査報告書』	
0129	予岳古墳			香美市土佐山田町楠目予岳			
0130	雪ヶ峰1号墳	円	15	香美市土佐山田町楠目字楠目山	須恵器	廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	
0131	雪ヶ峰2号墳			香美市土佐山田町楠目字楠目山			
0132	大塚古墳			香美市土佐山田町百石町2丁目他			
0133	小倉山古墳	円	15	香美市土佐山田町楠目字小倉山		廣田典夫1979「考古篇」『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会。	
0134	鏡野学園前古墳			香美市土佐山田町楠目字伏原山			
0135	八王子西古墳			香美市土佐山田町楠目字山ノ間丸			
0136	林田1号墳			香美市土佐山田町林田塚穴635			
0137	林田2号墳			香美市土佐山田町林田塚穴637			
0138	上分古墳			香南市野市町東佐古字上分			
0139	明見彦山1号墳			南国市明見字彦山		高知大学考古学研究室編2006『南国市における大型後期古墳の調査』	
0140	明見彦山2号墳			南国市明見字彦山			
0141	明見彦山3号墳	円	5	南国市明見字彦山		岡本健児1966『高知県の考古学』吉川弘文館。	
0142	狸岩1号墳			南国市明見字狸岩			
0143	狸岩2号墳			南国市明見字狸岩			
0144	狸岩3号墳			南国市明見字狸岩			
0145	越戸1号古墳			南国市岡豊町小篭字船戸161-14			
0146	越戸2号古墳			南国市岡豊町小篭字船戸161-15			
0147	坂折山古墳			南国市野中字坂折山			
0148	年越山1号墳			南国市野中字年越山			
0149	年越山2号墳			南国市野中字年越山			
0150	年越山3号墳			南国市野中字年越山			
0151	吾岡山古墳			南国市大埇字吾岡山乙2288			
0152	住吉山1号墳			南国市大埇字舟岡山			
0153	住吉山2号墳			南国市大埇字舟岡山			
0154	住吉山3号墳			南国市大埇字舟岡山			
0155	住吉山4号墳			南国市大埇字舟岡山			
0156	井川山1号古墳			南国市稲生井川字井川山			
0157	井川山2号墳			南国市稲生井川字井川山			
0158	馬背古墳			南国市稲生井川字馬背			
0159	馬背東1号古墳			南国市稲生井川字馬背			
0160	馬背東2号古墳			南国市稲生井川字馬背			
0161	馬背西1号古墳			南国市稲生井川字馬背			
0162	丸山古墳			南国市稲生丸山字丸山	須恵器	岡本健児1968『高知県史』考古編	廣田1995稲生丸山古墳 岡本1968丸山上塚古墳

番号	古墳名	墳形	墳丘規模	所在地	出土遺物	出典	備考
0163	坂ノ松古墳			南国市稲生丸山字坂ノ松越し			
0164	秋葉山南平古墳			南国市片山字秋葉山南平			
0165	蔵光古墳			南国市片山字蔵光			
0166	日吉山古墳群			香南市野市町西佐古日吉山			
0167	父養寺古墳			香南市野市町父養寺			
0168	大谷古墳	円	12	香南市野市町大谷1395	須恵器16/ 刀2/ 鉄鏃10/ 刀子4/ 釘4/ 弭金具1/ 鈴具1/ 雲珠2/ 轡1/ 玉類20/ 耳環8	山本哲也編1991『大谷古墳』高知県文化財団	発掘調査後移築。
0169	溝渕山古墳			香南市野市町母代寺字溝渕山665			
0170	大崎山古墳			香南市本村奥ヶ谷			
0171	池の本古墳			香南市香我美町山北2031			
0172	榛ヶ谷古墳			香南市香我美町下分268他			
0173	鳴呼1号墳			香南市香我美町2686-1他			
0174	徳善天皇古墳			香南市香我美町徳王子1365-2他			
0175	八王子神社古墳			香南市香我美町上分八王子神社			
0176	螢野古墳			香南市香我美町徳王子徳善螢野			詳細不明。
0177	加治ヶ山古墳			香南市夜須町坪井650・662・659			
0178	土居山古墳			香南市夜須町西山字土居山1319			
0179	ノツゴ古墳			香南市夜須町西山字ノツゴ1928			詳細不明。
0180	一ノ宮古墳			安芸市井ノ口字北岡			
0181	灰方古墳群			須崎市浦ノ内灰方1151ノ2			
0182	股谷古墳			土佐市波介股谷			
0183	波介土居山古墳			土佐市波介土居山			
0184	大サルバミ古墳			土佐市塚地大サルバミ			
0185	大木戸古墳群			安芸市東島大木戸			
0186	田ノ口古墳			幡多郡黒潮町下田ノ口字石ガミ			
0187	平田曽我山古墳			宿毛市平田町戸内字曽我山	獣首鏡・四獣鏡・刀1・矛1	森浩一1954「獣首鏡を出した土佐平田村戸内の古墳」『古代学研究』第９号。	
0188	高岡山1号墳	方？	18	宿毛市平田町戸内字高岡山	勾玉1・管玉13・筒形銅器1・青銅製小棒1・鉄刀1	山本哲也1985『高岡山古墳群発掘調査報告書』高知県教育委員会。	
0189	高岡山2号墳	円		宿毛市平田町戸内字高岡山	勾玉5・管玉14・小玉26・石釧1・鏡１	山本哲也1985『高岡山古墳群発掘調査報告書』高知県教育委員会。	
0190	神ヶ谷古墳			宿毛市平田町黒川字神ヶ谷			試掘調査。
0191	古津賀古墳	円		四万十市古津賀字古津賀神社	金環2/ 鉄刀1/ 帯飾金具1/ 鉄鏃15以上/刀子3以上　ほか	廣田典夫1975『古津賀古墳』中村市教育委員会。	
0192	白皇山古墳			四万十市竹島字土居山			詳細不明。
0194	秦泉寺開古墳						吉弘古墳（020，現存）
0195	丸山3号墳			南国市稲生			
0196	前行山5号墳			香美市土佐山田町楠目		高知大学考古学研究室編2007『大元神社古墳発掘調査報告書』	
0197	船岡山3号墳	円	16.3		須恵器	廣田典夫1979『南国市史』上巻南国市。	住吉山古墳（152）と同じ。
0198	上方古墳			香美市土佐山田町伏原		岡本健児1968『高知県史』考古編	廣田1995では「伏原1号墳」
0201	高松古墳	円		南国市久礼田高松	須恵器30/ 金環7/ 刀子1/ 鉄鏃7/ 馬具（轡/革金具2/ 鉄地金銅張十字形金具1)/ ガラス玉7など	岡本健児ほか1964「南国市久礼田高松古墳」『高知県文化財調査報告書』第14集高知県教育委員会。	久礼田高松古墳
0202	植田古墳群			南国市植田字城ヶ谷1428			
0203	野神古墳			香我美町上分十万254			
0204	蒲原山古墳			南国市植田字城ヶ谷1428			蒲原山１号古墳のことか
0205	一宮1号古墳			高知市一宮			
0206	馬の上古墳			安芸郡芸西村馬の上			

図２　有岡（番号は表１に対応。以下同じ）


0
3 km
186
四万十市
四万十川
四万十川
東土佐中村
東山
藤岡
藤岡
藤岡

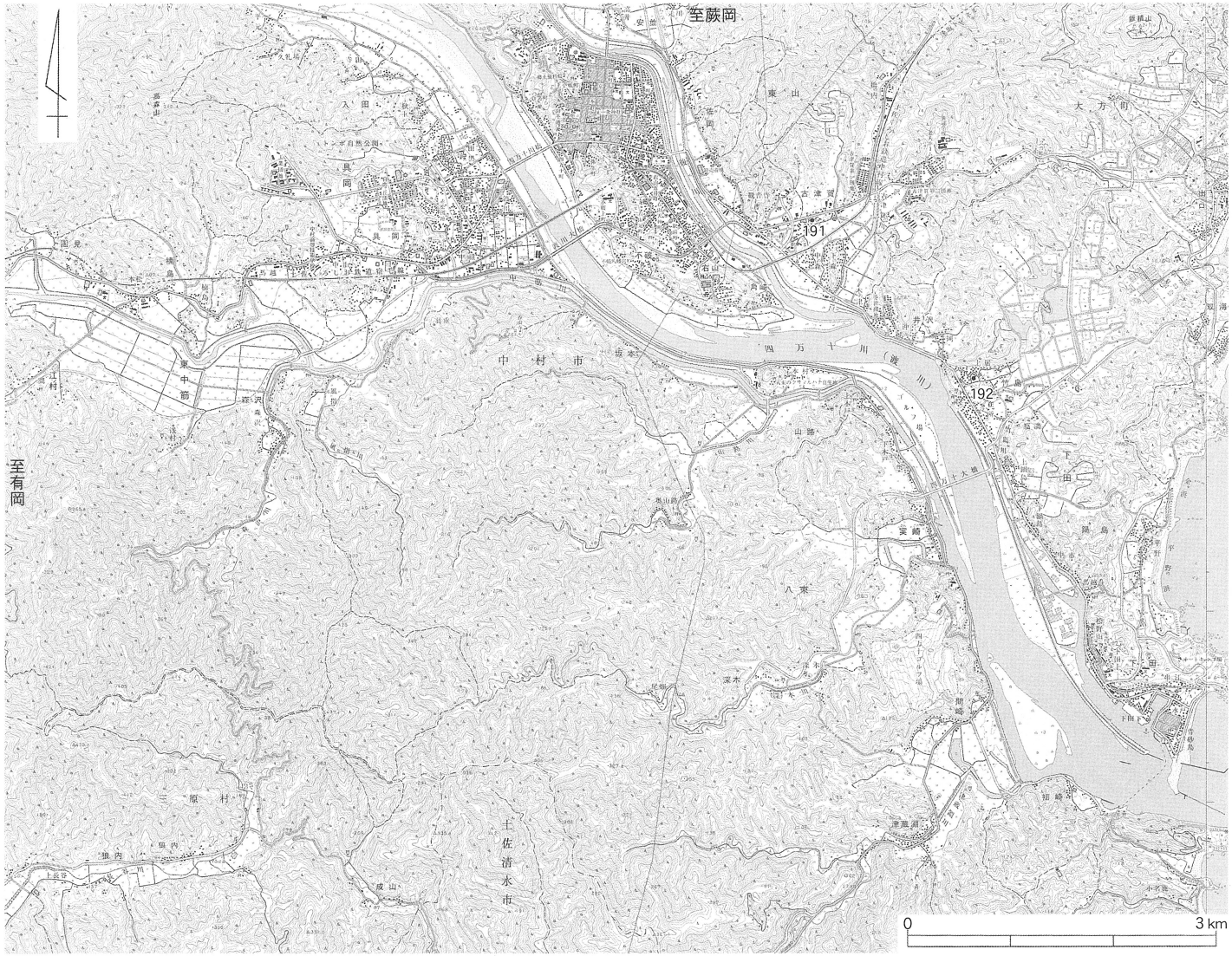


図4　土佐中村

図5　いの

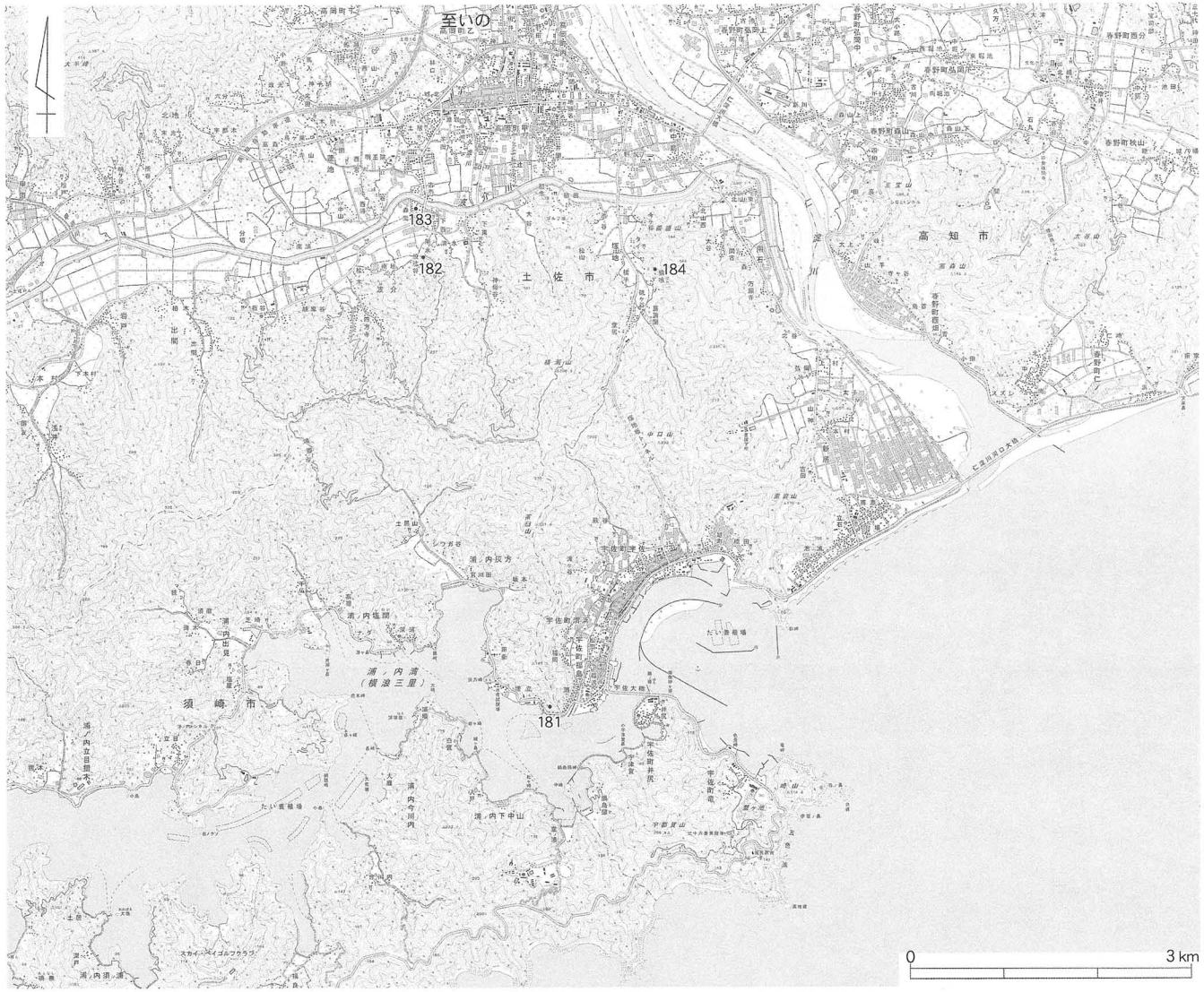


図6　土佐高岡

舟岩古墳群
(073～089)
至土佐山田
至高知
南国市
高知市
土佐町
土佐山田町
049
052
048
047
051a
046
050
204
056
054
053
057
055
089
092
091
090
061
060
059
205
012
0
3 km

図７　土佐山

至土佐山
017
018
019
020
021
011
026
025
022
023
024
016
044
045
0141
0140
0139
0142
0143
0144
039
040
041～043
高間原古墳群
028～038
027
205
015
013
014
至いの
至後免
0
3 km

図8　高知

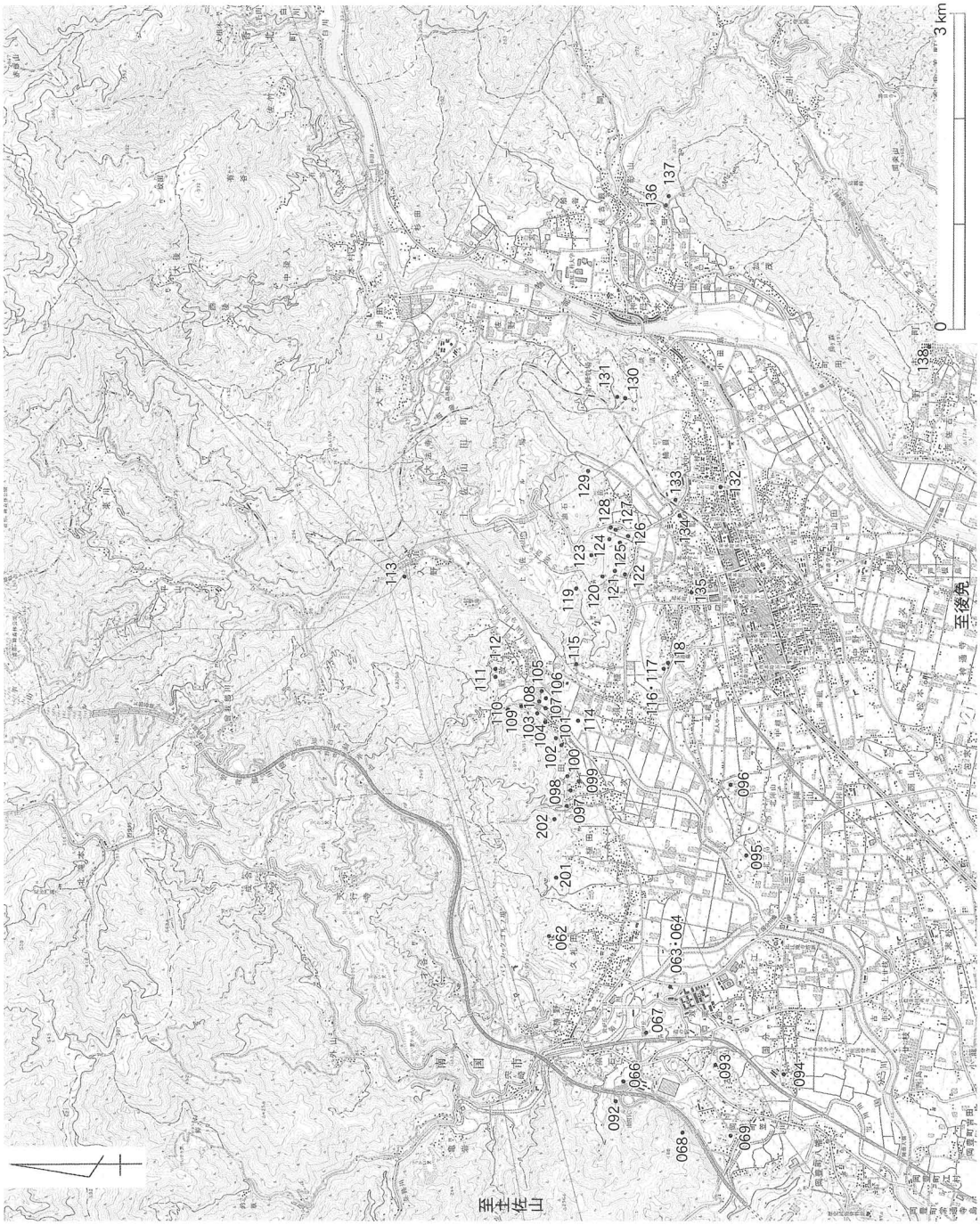


図９　土佐山田

至土佐山田
至高知
至手結
146
147
148
149
150
145
154
155
151
153
152
159
161
160
156
157
158
163
162
164
165
166
167
169
170
168
171
172
173
174
0
3 km

図10　後免

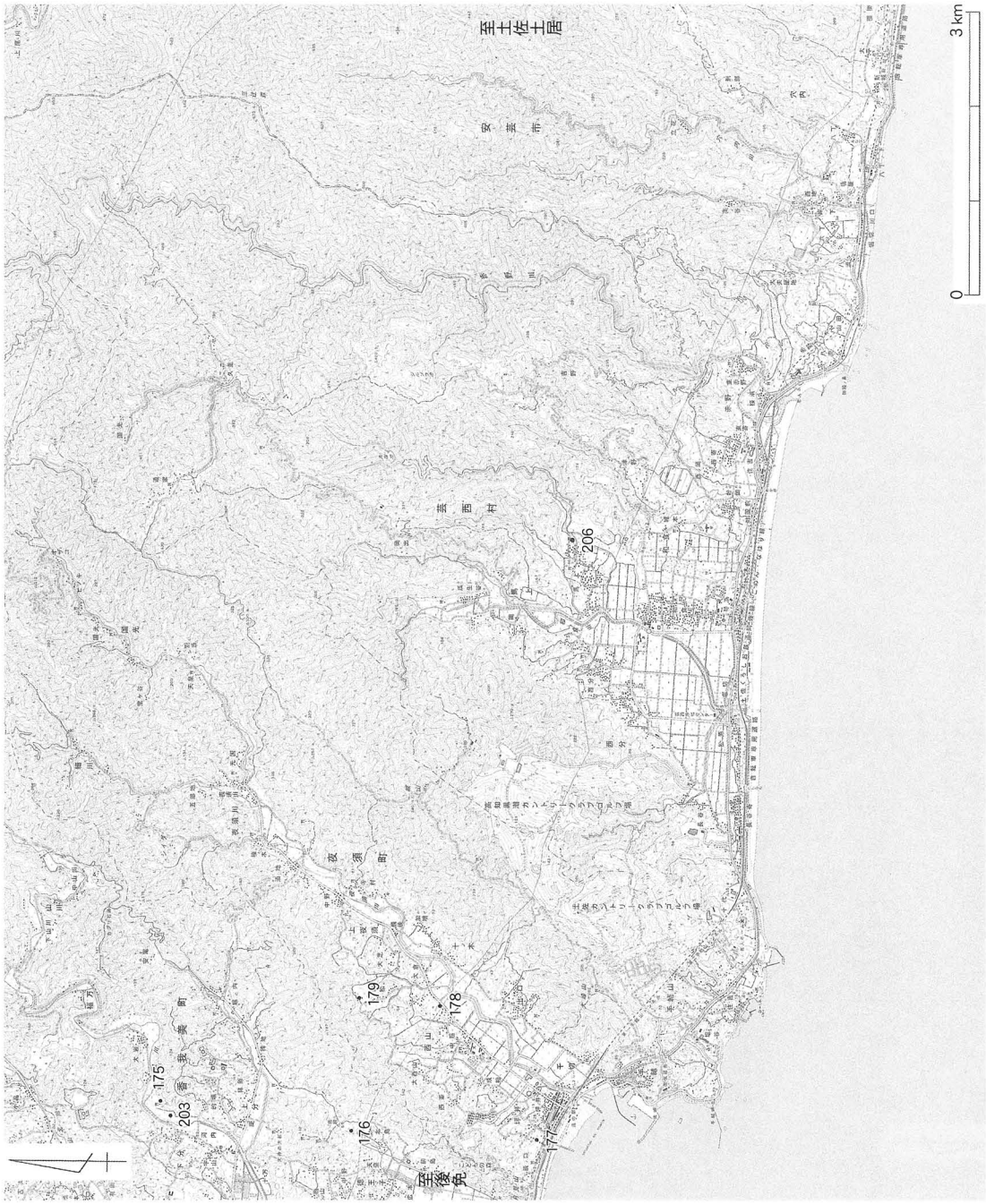


図11　手結

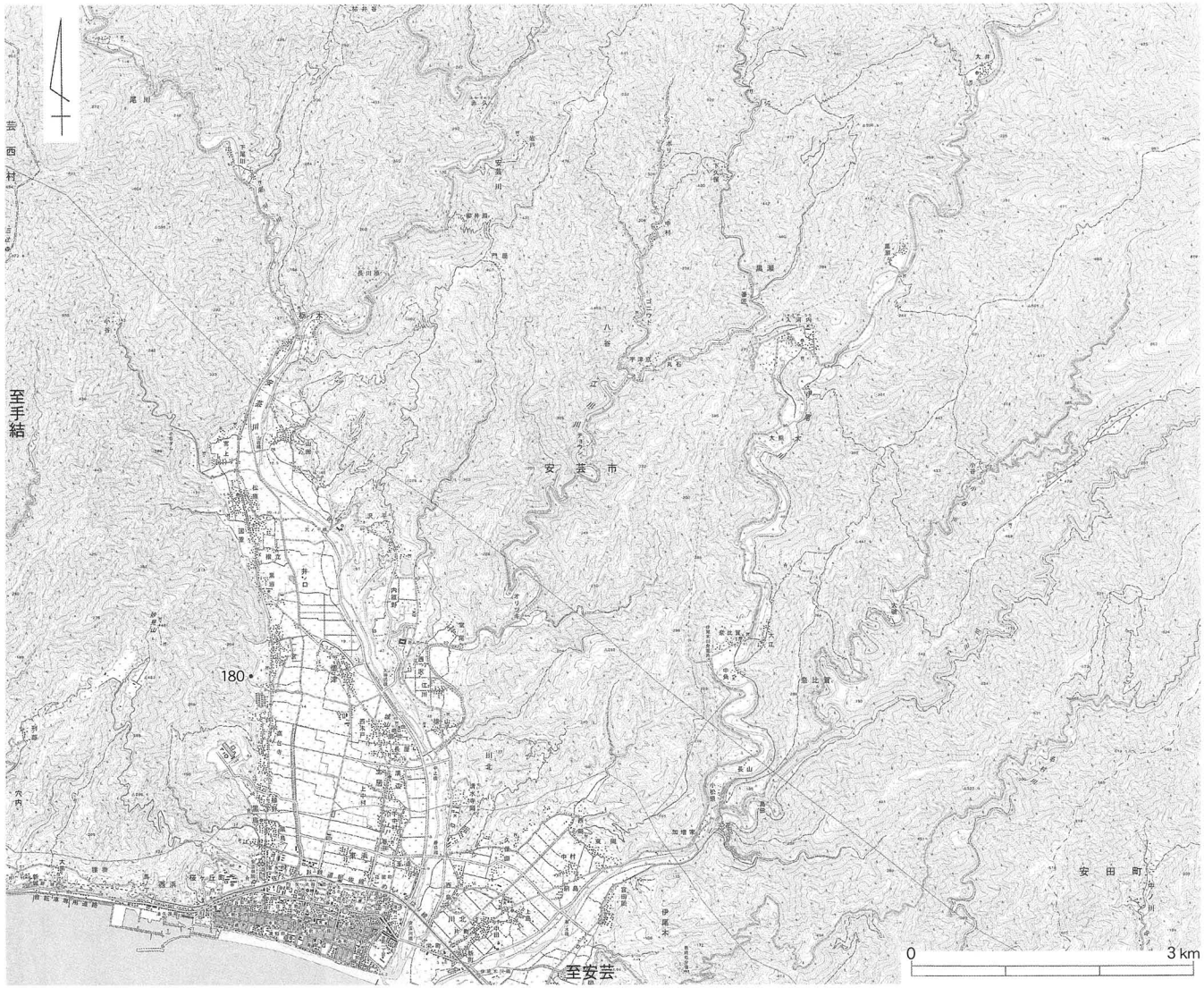


図12　土佐土居

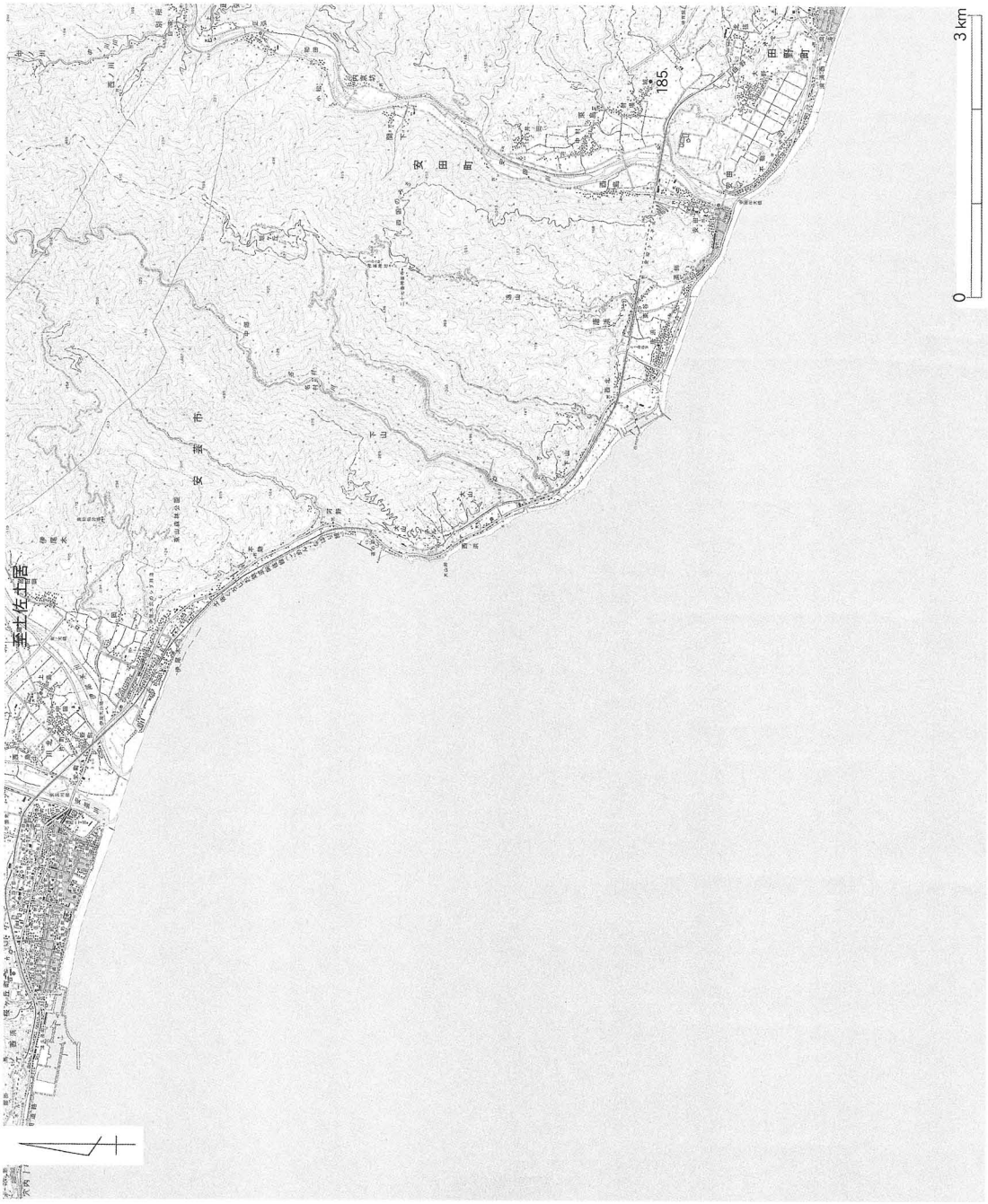


図13　安芸

Ⅲ　高知県横穴式石室集成

例　言

1．以下には高知県の横穴式石室を掲載した。ただし、長畝古墳群に関しては横穴式石室以外の埋葬施設も掲載した。

2．図は後掲の挿図出典から引用した。

3．図の縮尺は80分の１に統一した。ただし、原典で縮尺に誤りがあった古墳については、編者が実物を観察して是正を試みている。明見彦山３号墳に関しては改めて実測調査を行っている。近い将来に報告書を刊行する予定であるので、それを待たれたい。

4．各図に付した番号は表１・図２～13、ならびに後掲の挿図出典の番号と対応する。

5．本集成に関しては渡邊可奈子・矢部俊一の協力を得た。また廣田佳久1995「高知の横穴式石室」『四国における横穴式石室の成立と展開』古代学協会四国支部第９回徳島大会資料を参考にしている。

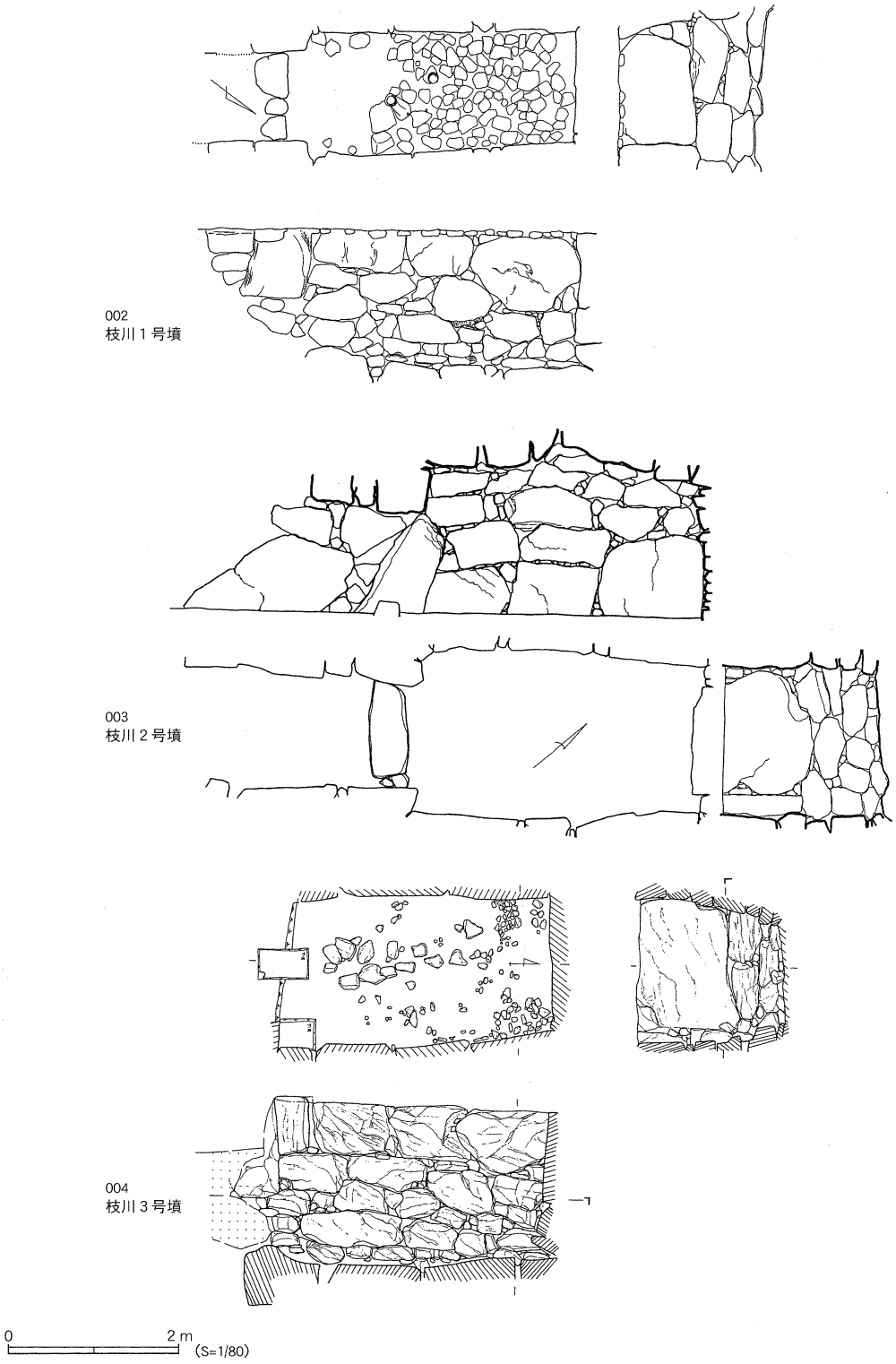


図14　横穴式石室集成１

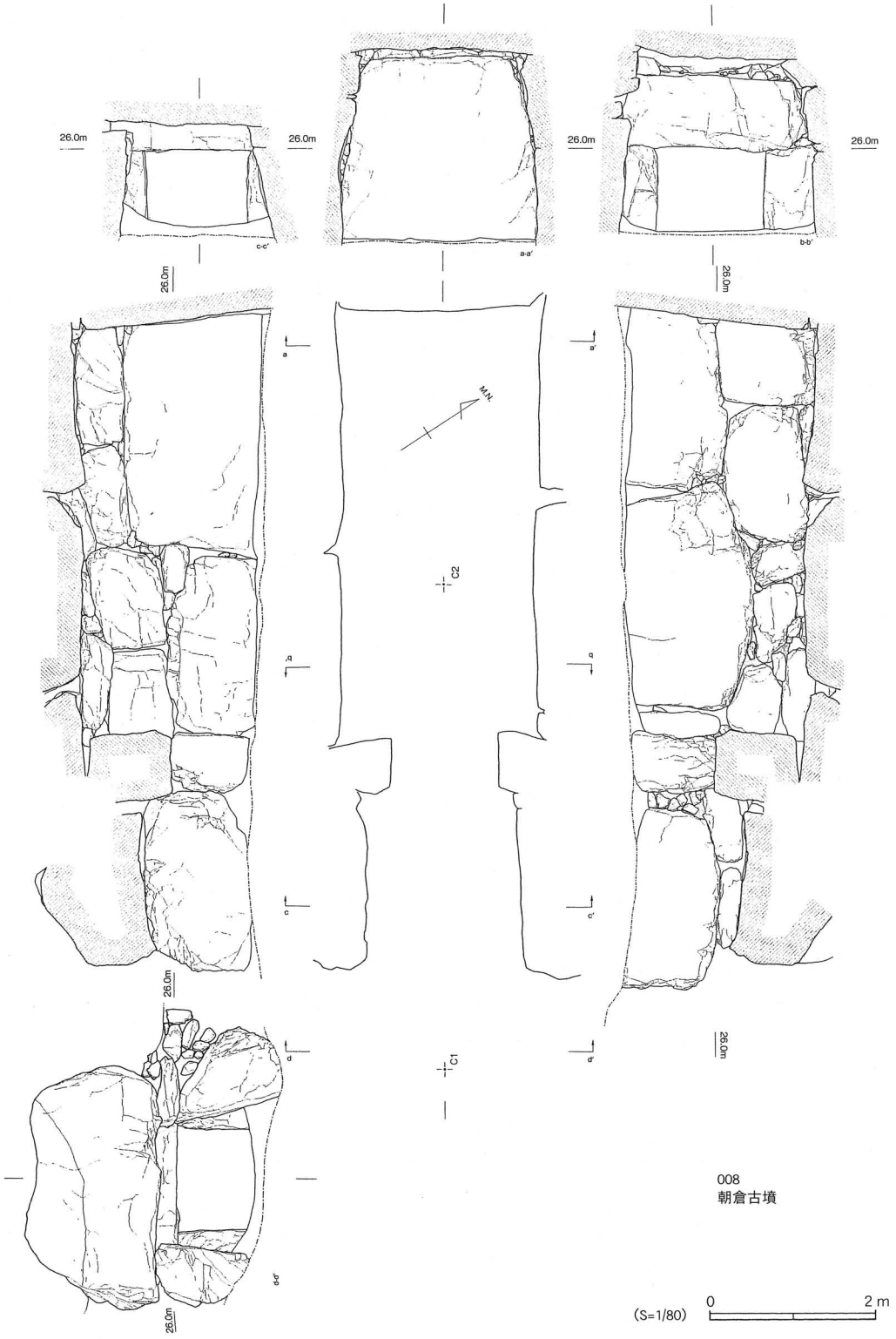


図15　横穴式石室集成２

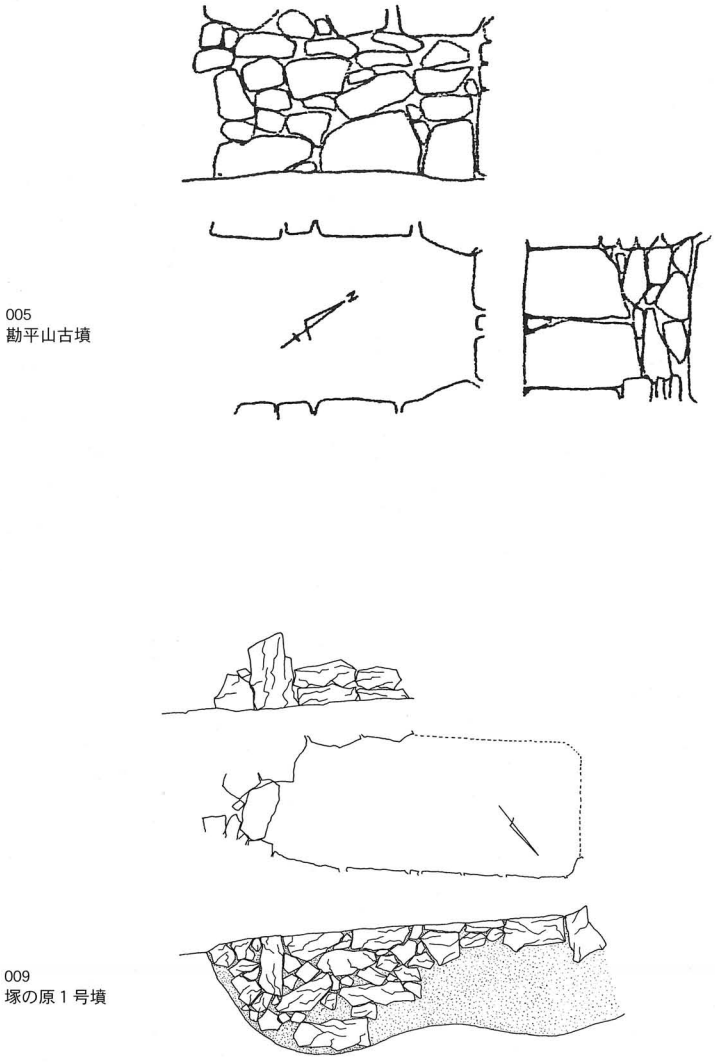
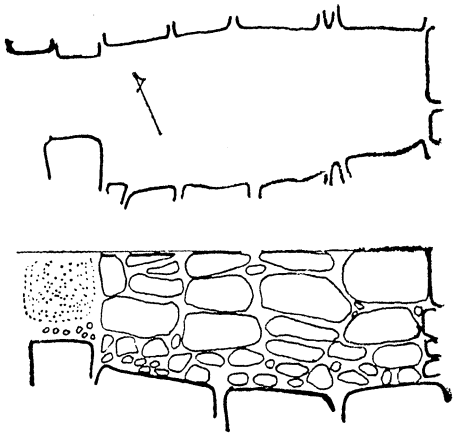
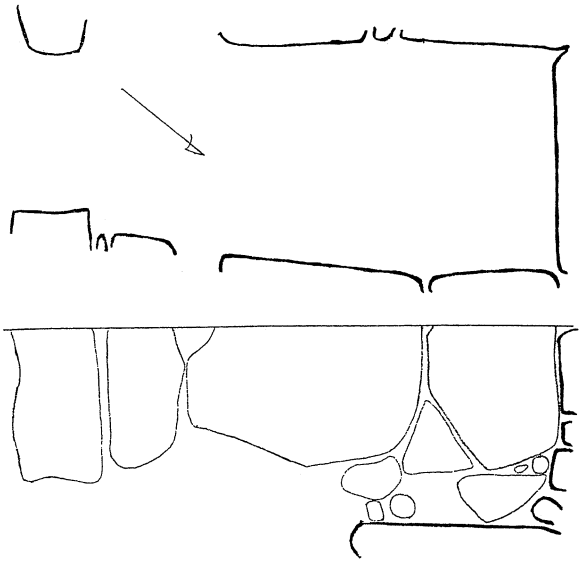


図16　横穴式石室集成３



011
秦泉寺仁井田神社裏古墳



024
愛宕不動堂前古墳

(S=1/80) 0 2 m

図17　横穴式石室集成４

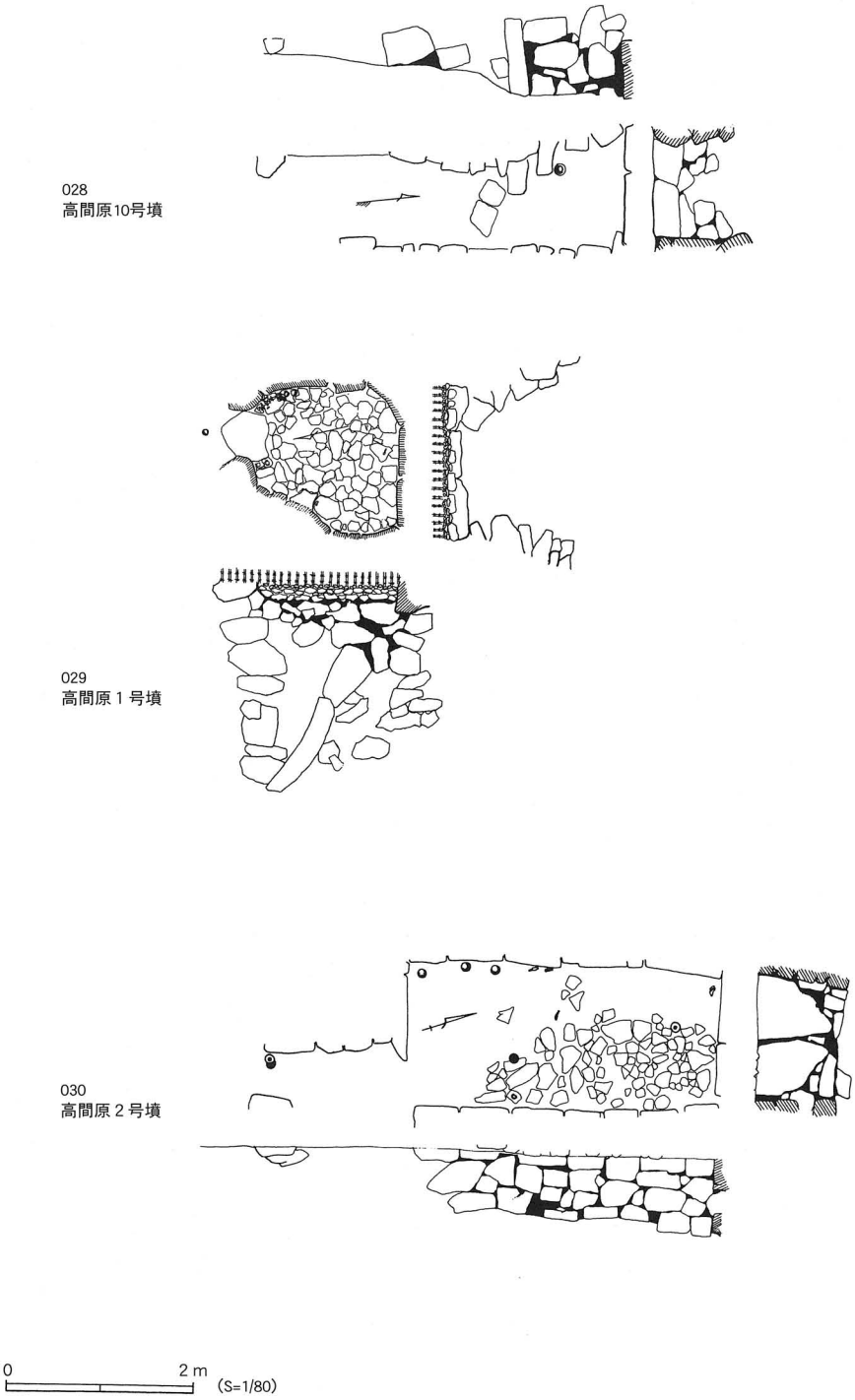
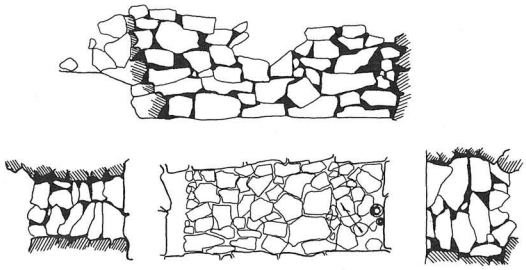
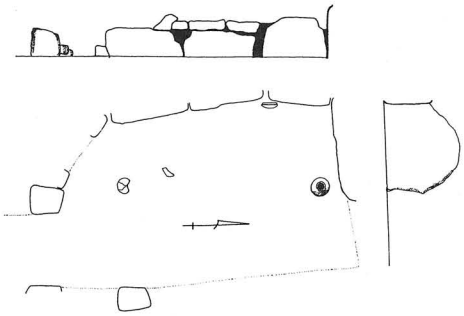


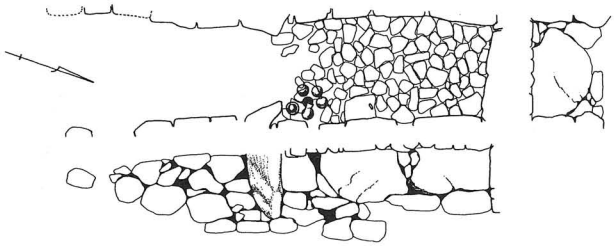
図18　横穴式石室集成５



031
高間原３号墳



035
高間原５号墳



036
高間原６号墳

0　2 m
(S=1/80)

図19　横穴式石室集成６

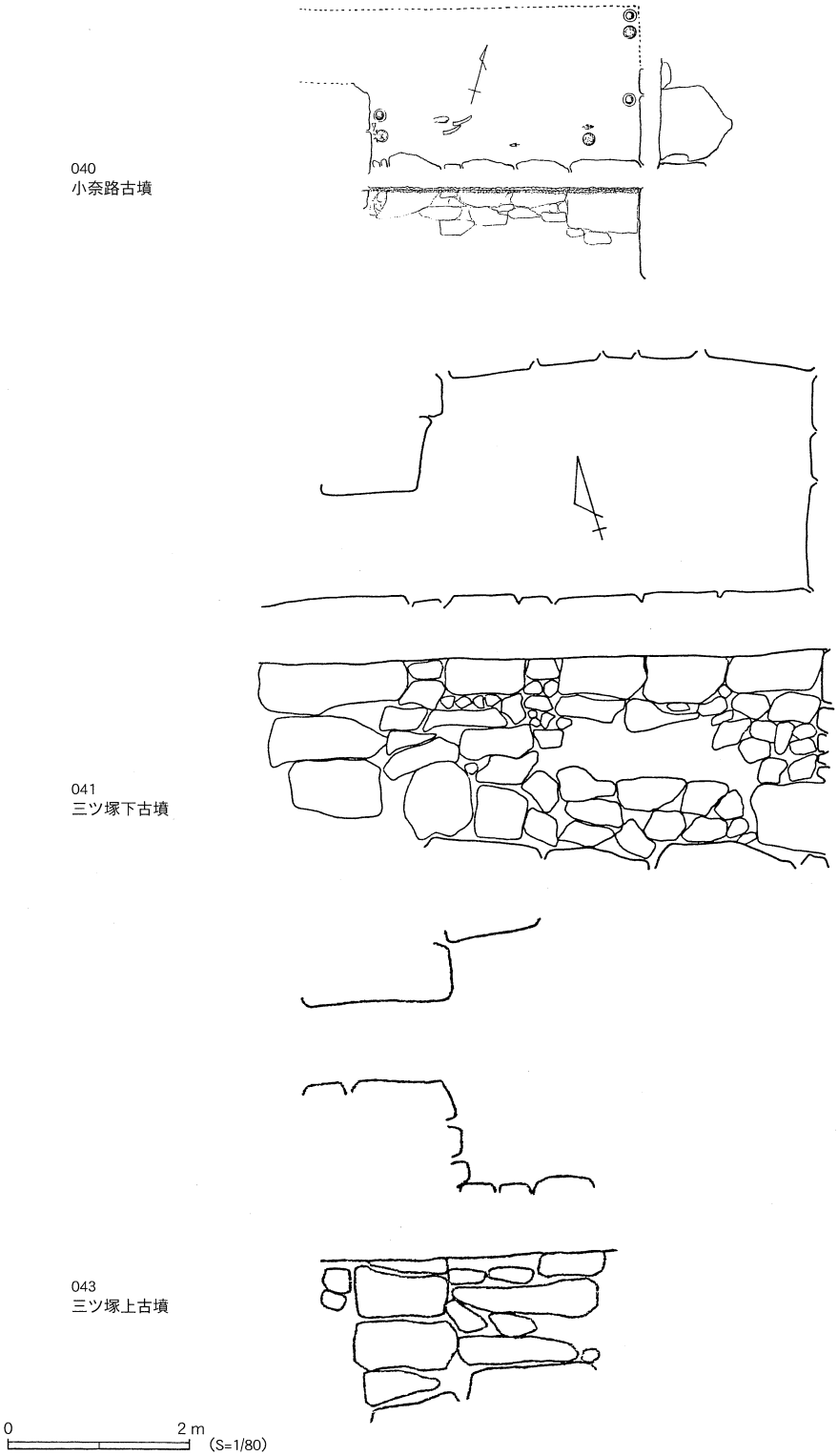
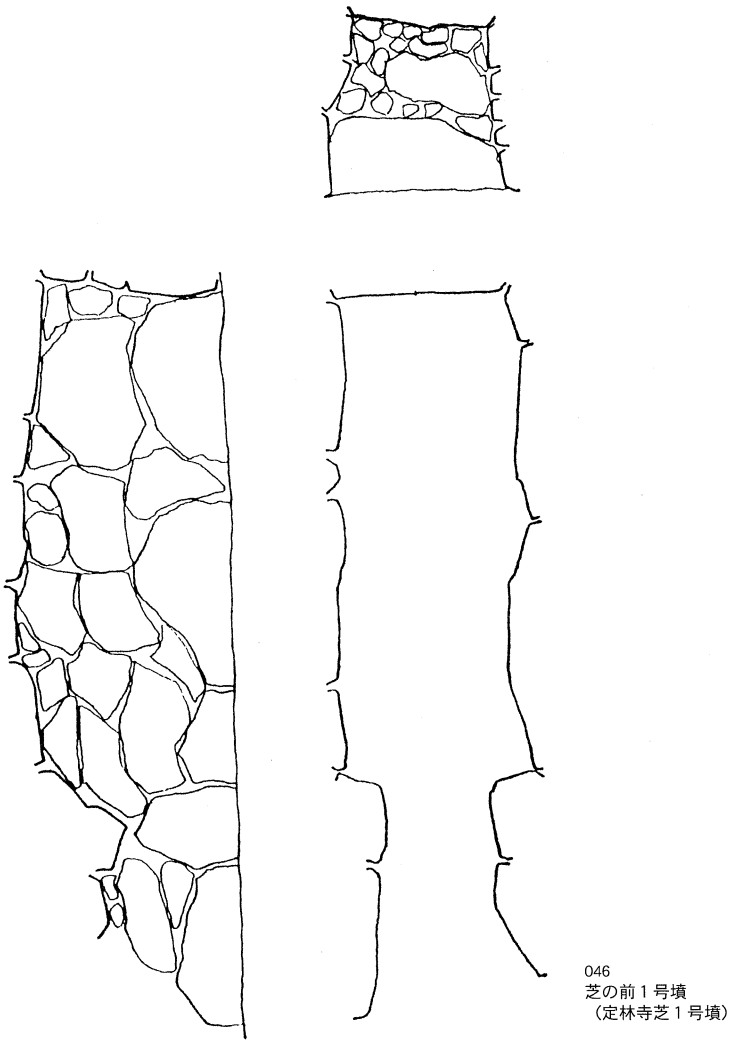


図20　横穴式石室集成７



(S=1/80) 0 2 m

図21　横穴式石室集成８

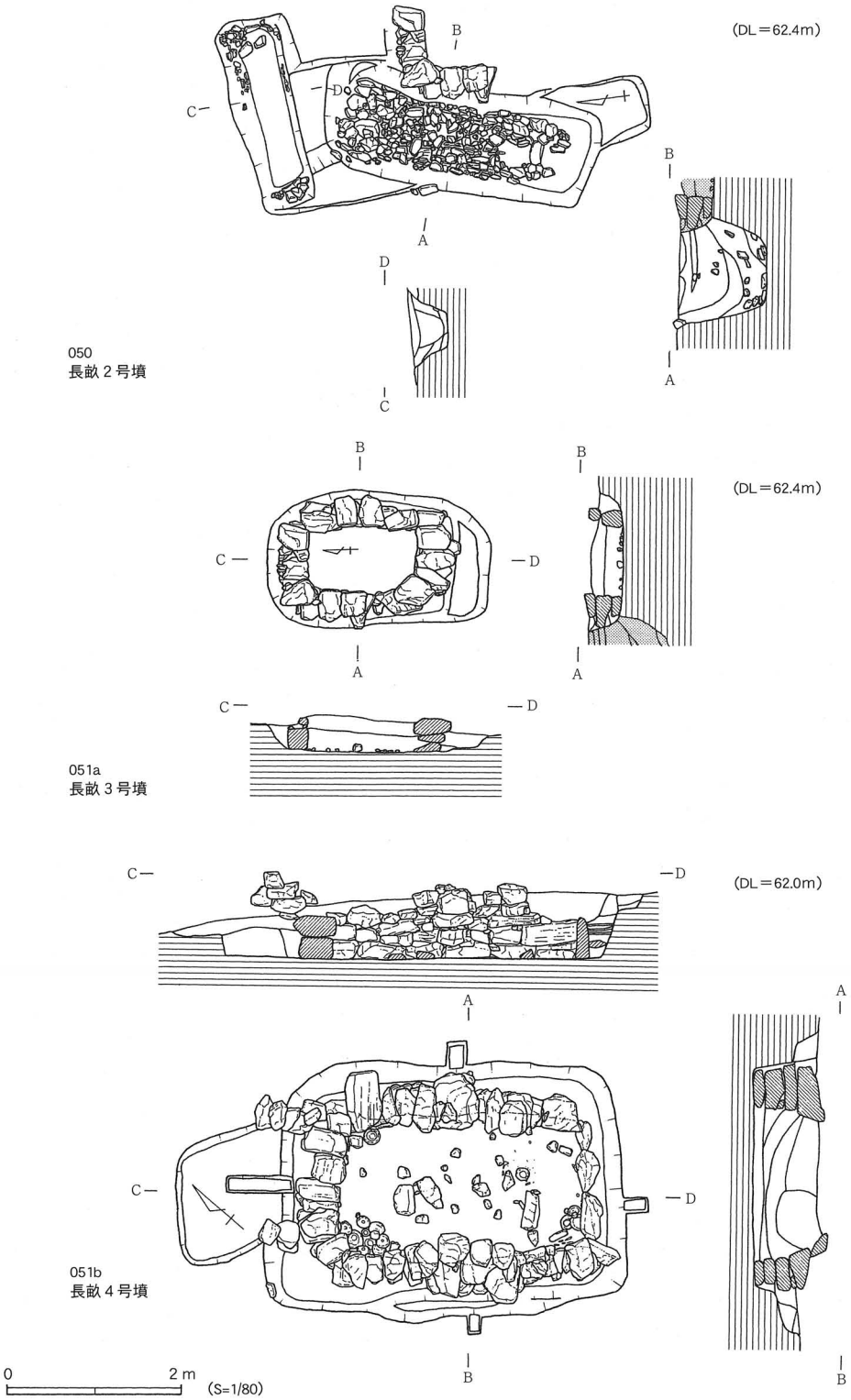


図22　横穴式石室集成９

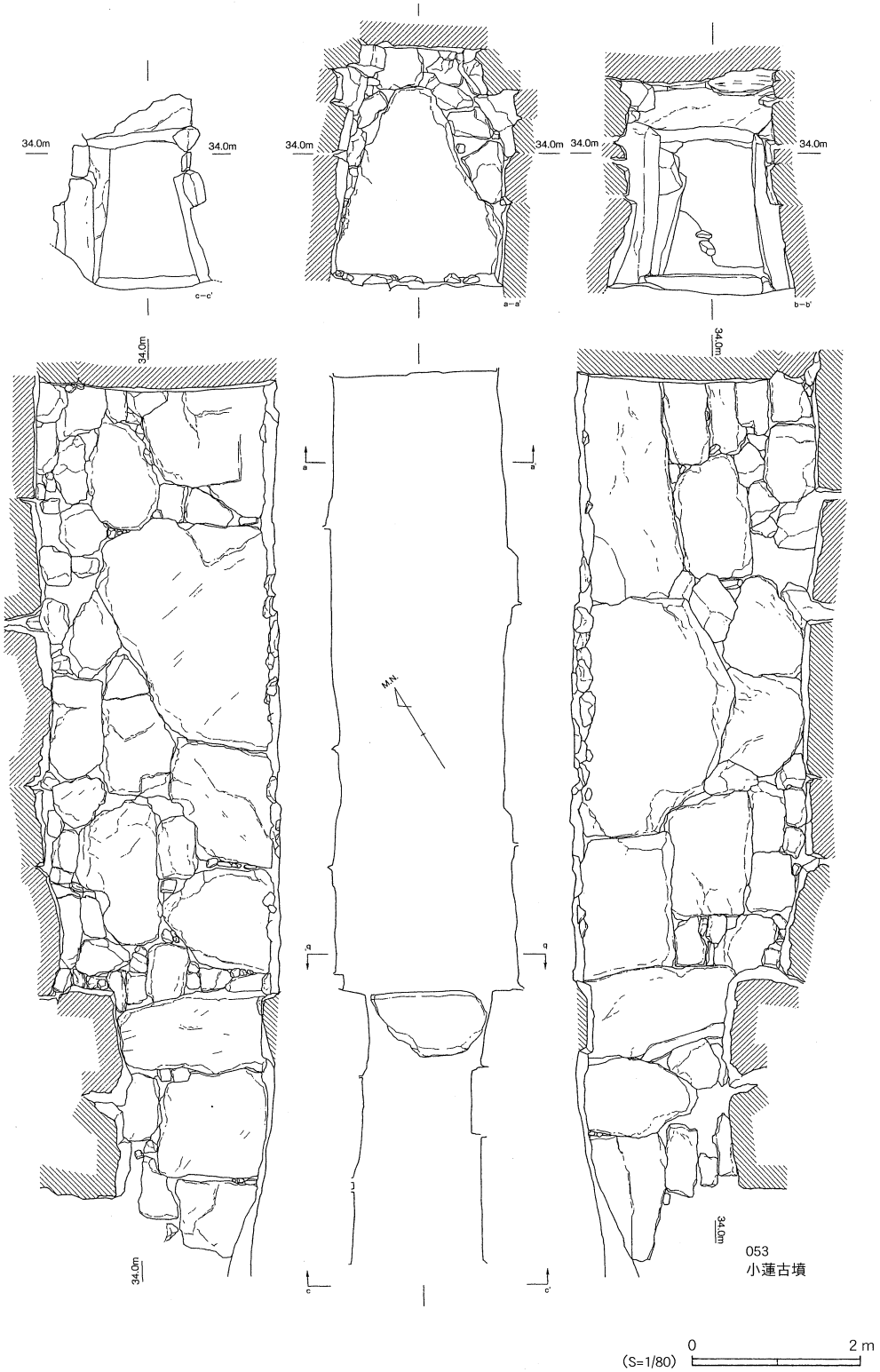
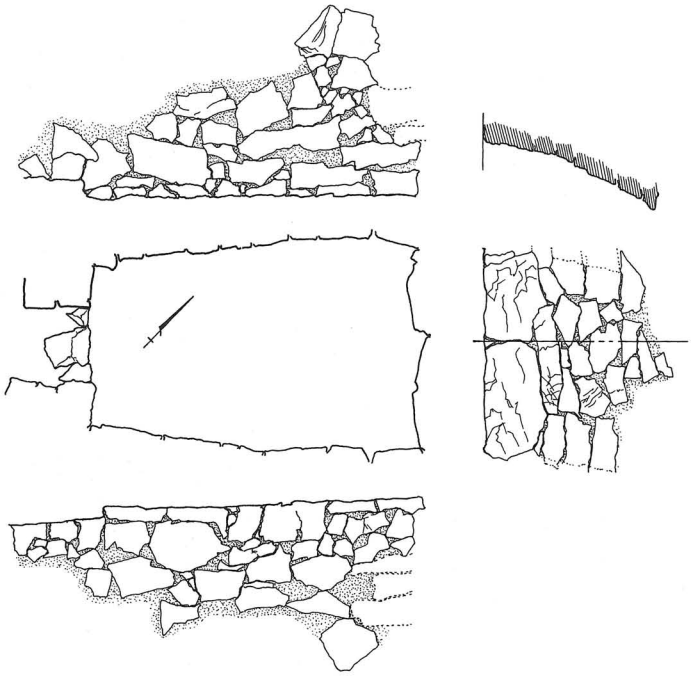
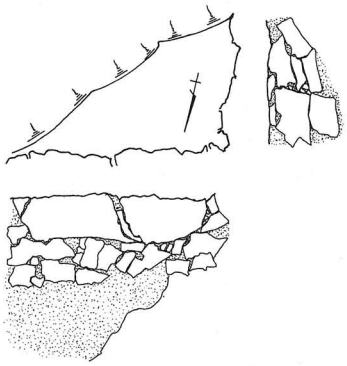


図23　横穴式石室集成10



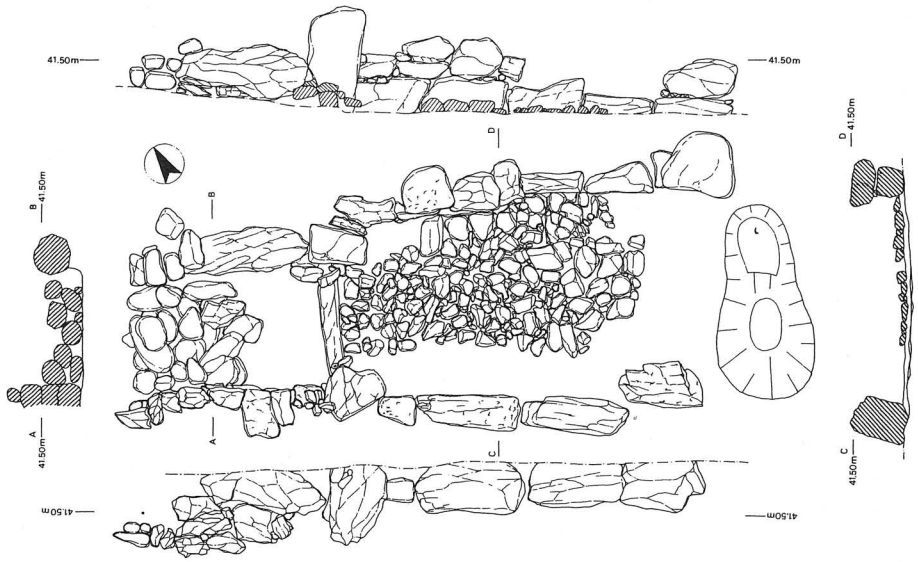
060
蒲原山東１号墳



061
蒲原山東２号墳

0　　2 m
(S=1/80)

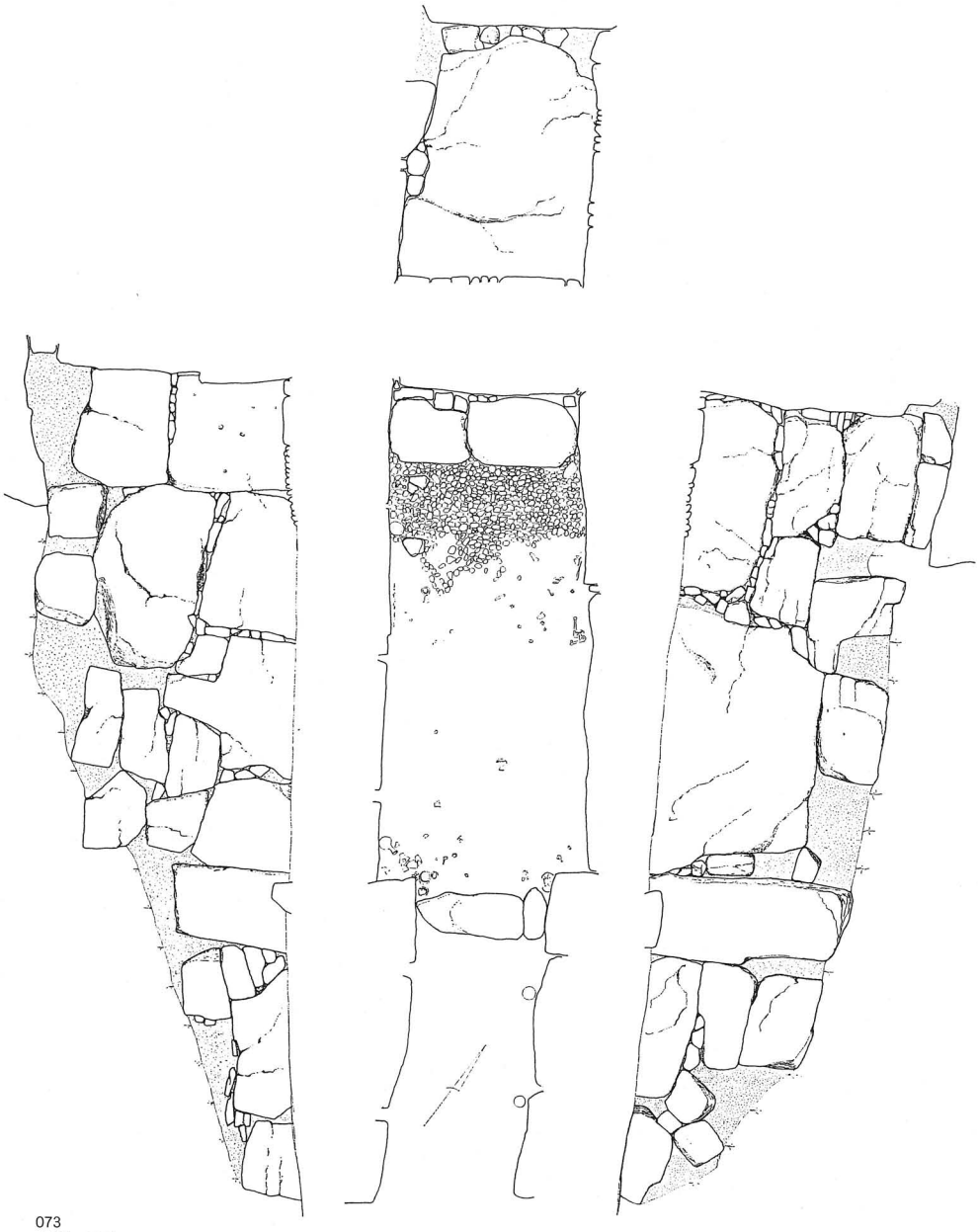
図24　横穴式石室集成11



065
口ミノヲ谷古墳

(S=1/80) 0 2 m

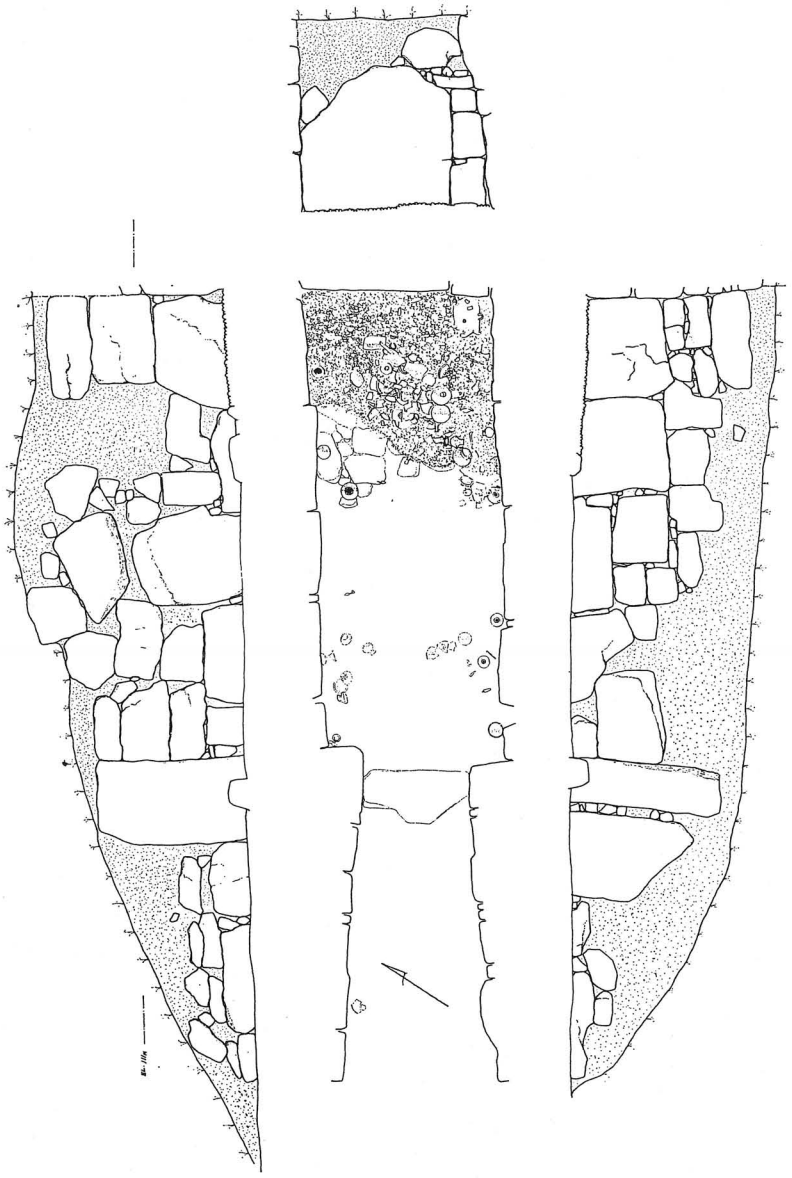
図25　横穴式石室集成12



073
舟岩１号墳

0　2 m
(S=1/80)

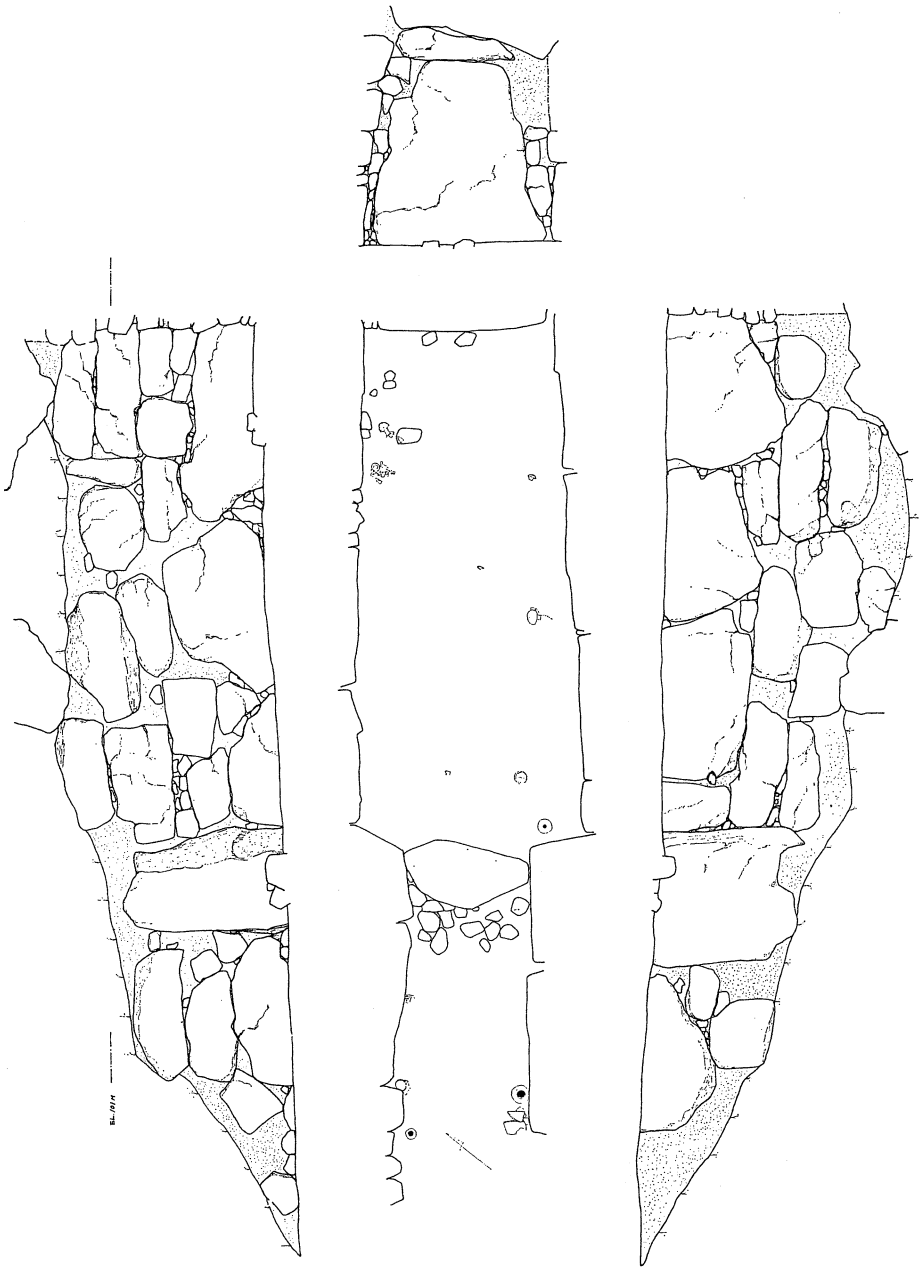
図26　横穴式石室集成13



074
舟岩２号墳

(S=1/80) 0 2 m

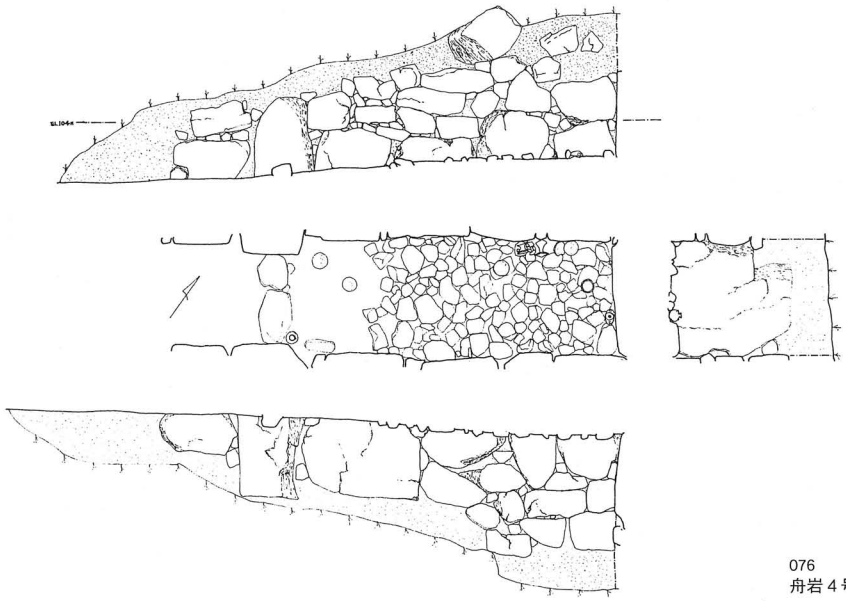
図27　横穴式石室集成14



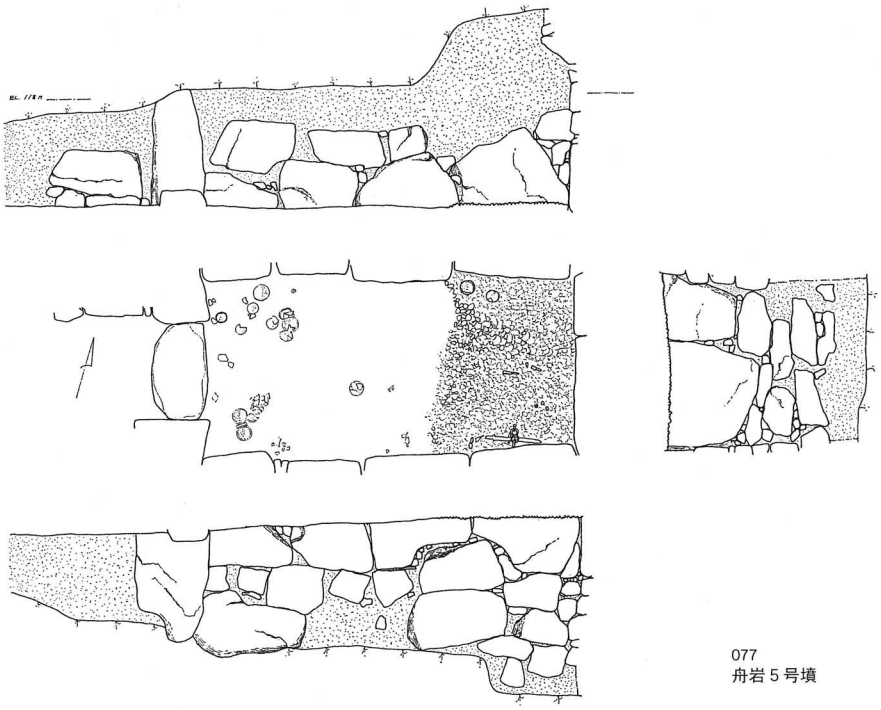
075
舟岩３号墳

0　2 m
(S=1/80)

図28　横穴式石室集成15



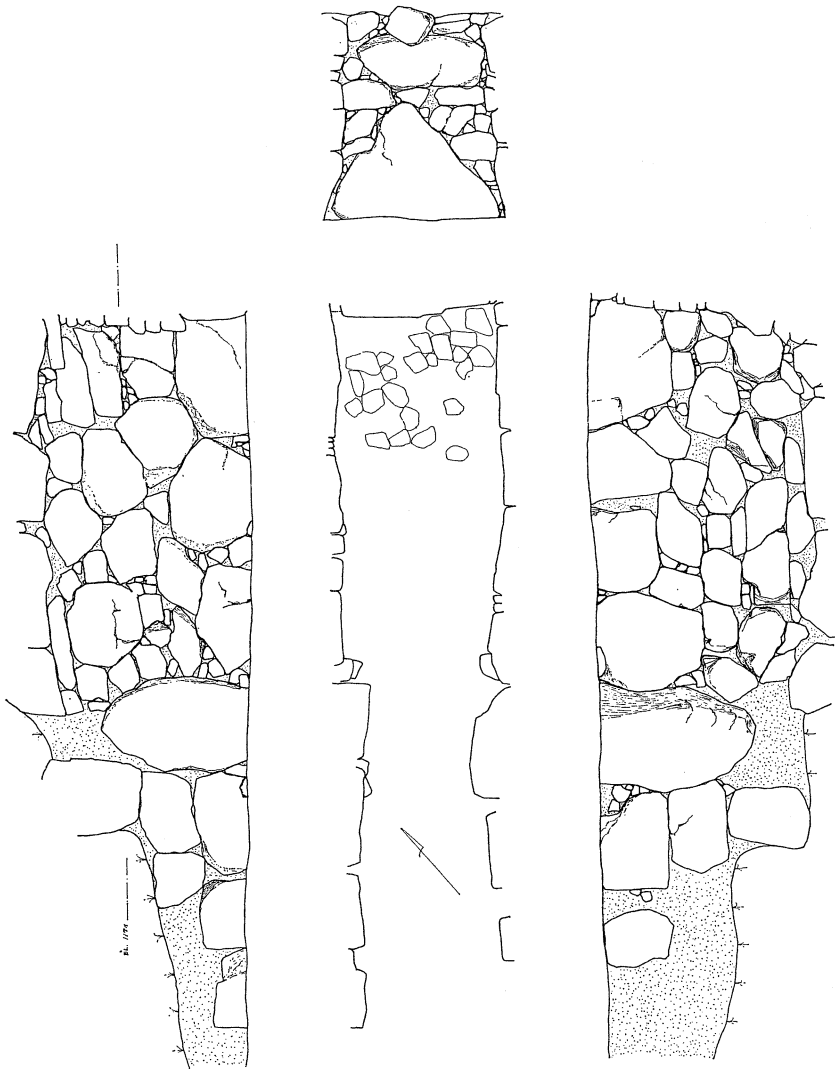
076
舟岩４号墳



077
舟岩５号墳

(S=1/80) 0 2 m

図29　横穴式石室集成16

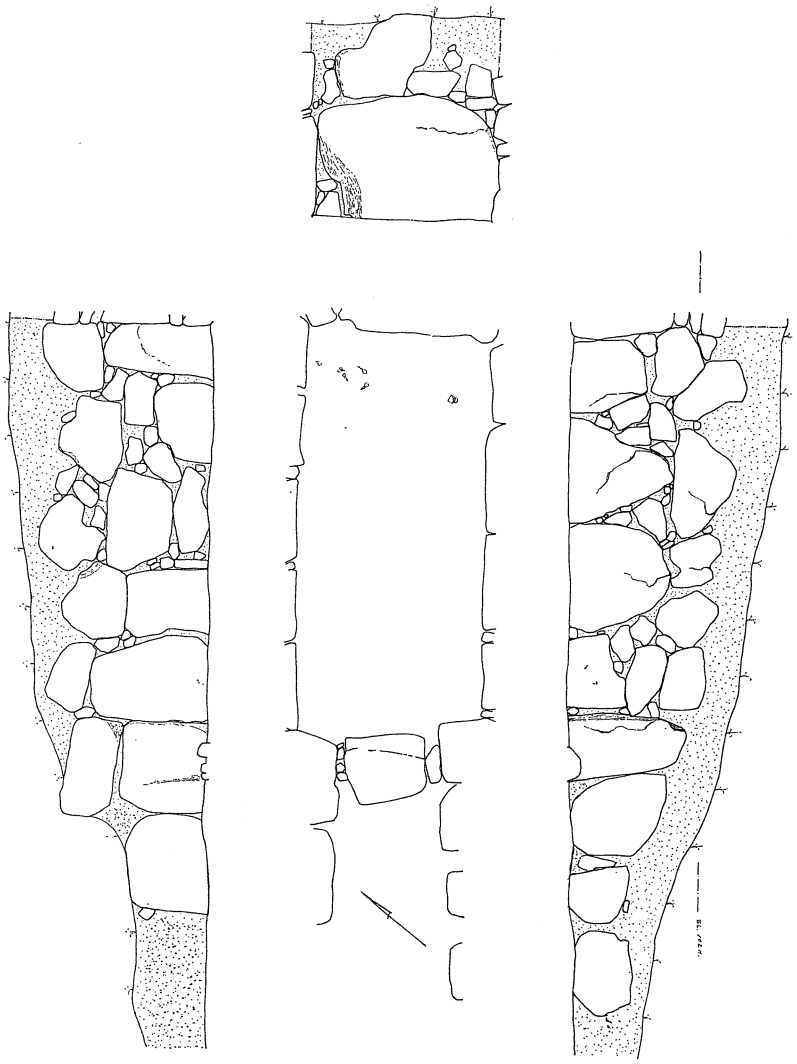


078
舟岩６号墳

0　　2 m
(S=1/80)

図30　横穴式石室集成17

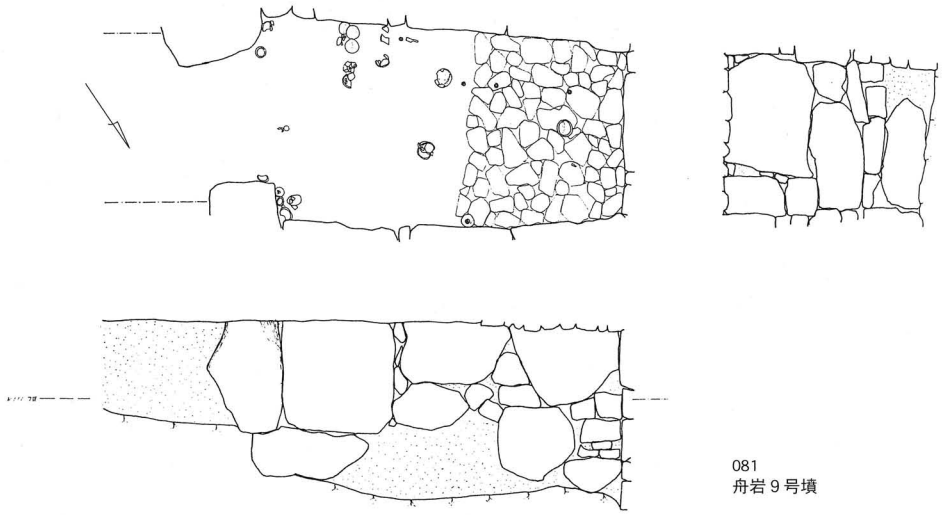
図31　横穴式石室集成18



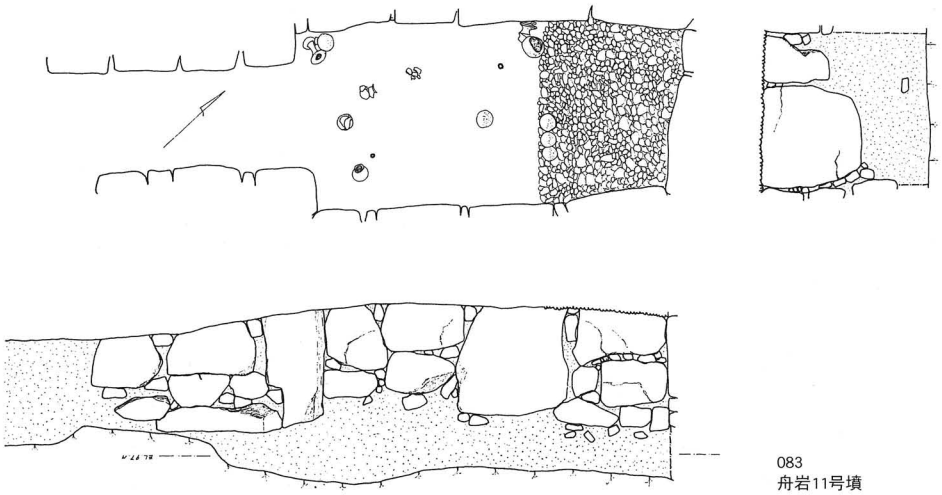
082
舟岩10号墳

0　2 m　(S=1/80)

図32　横穴式石室集成19



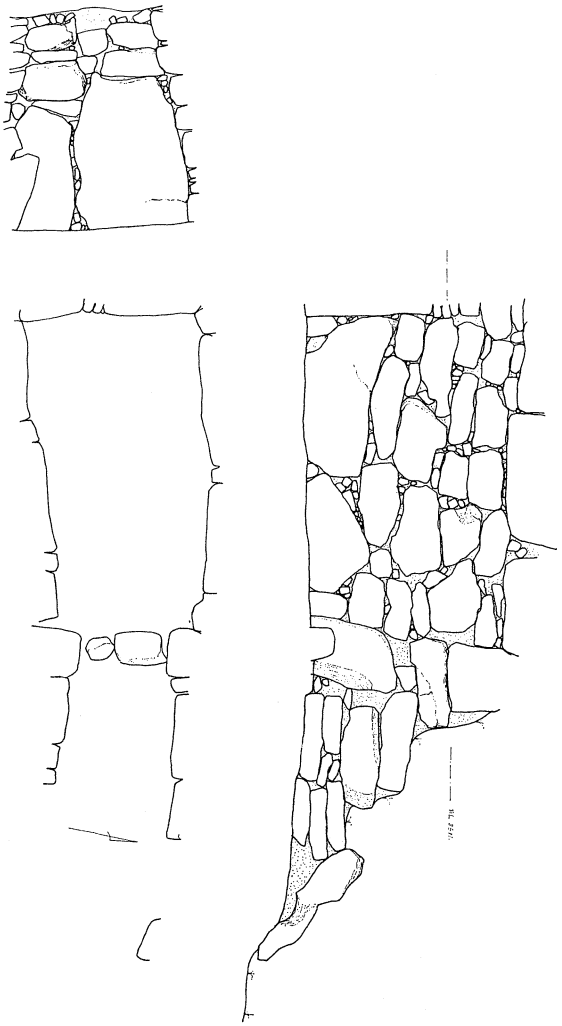
081
舟岩９号墳



083
舟岩11号墳

(S=1/80) 0 2 m

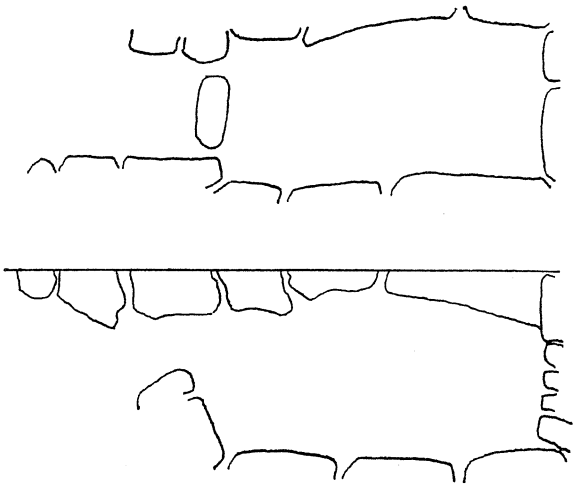
図33　横穴式石室集成20



084
舟岩12号墳

0　2 m
(S=1/80)

図34　横穴式石室集成21

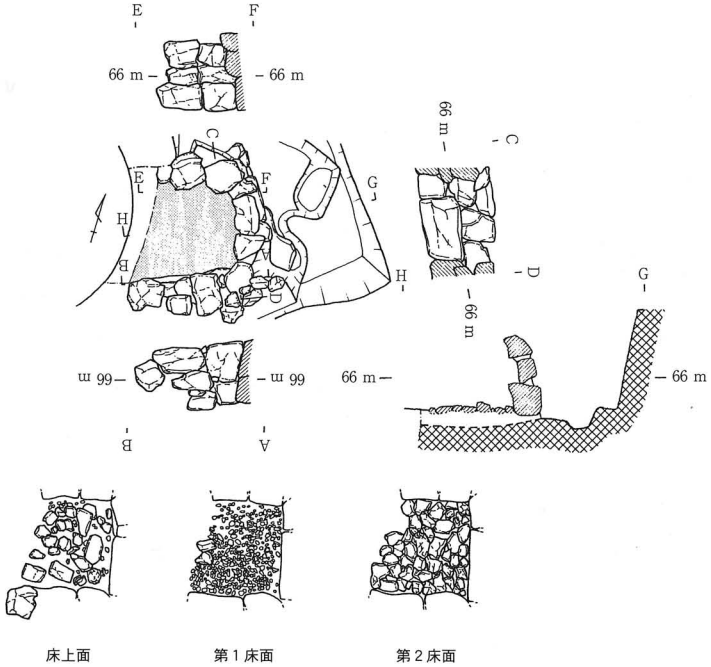


086
舟岩14号墳（大平山東古墳）

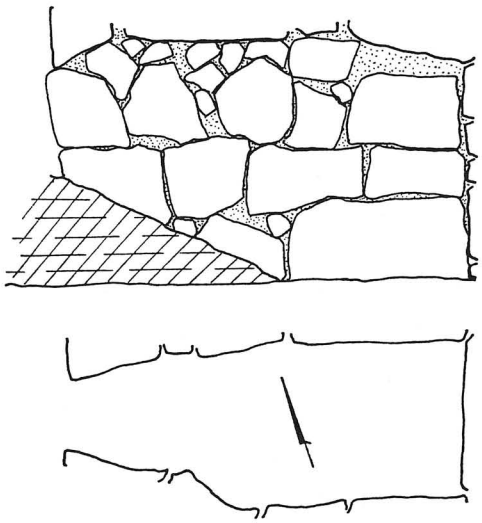
087
舟岩15号墳（大平山西古墳）

0　2 m
（S=1/80）

図35　横穴式石室集成22



092
蔵本2号墳



097
西ノ久保古墳（久次西久保古墳）

0　2 m
(S=1/80)

図36　横穴式石室集成23

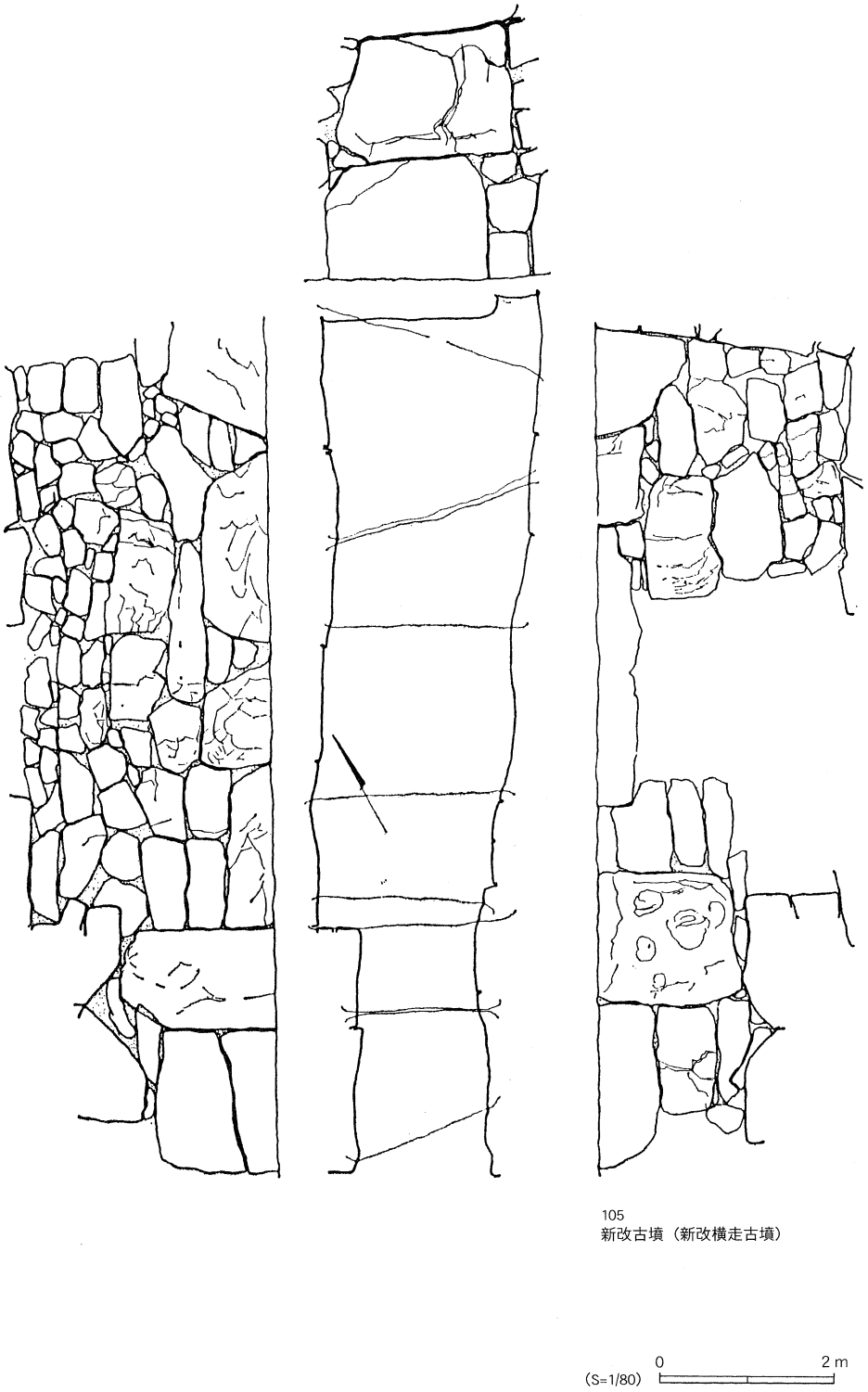


図37　横穴式石室集成24

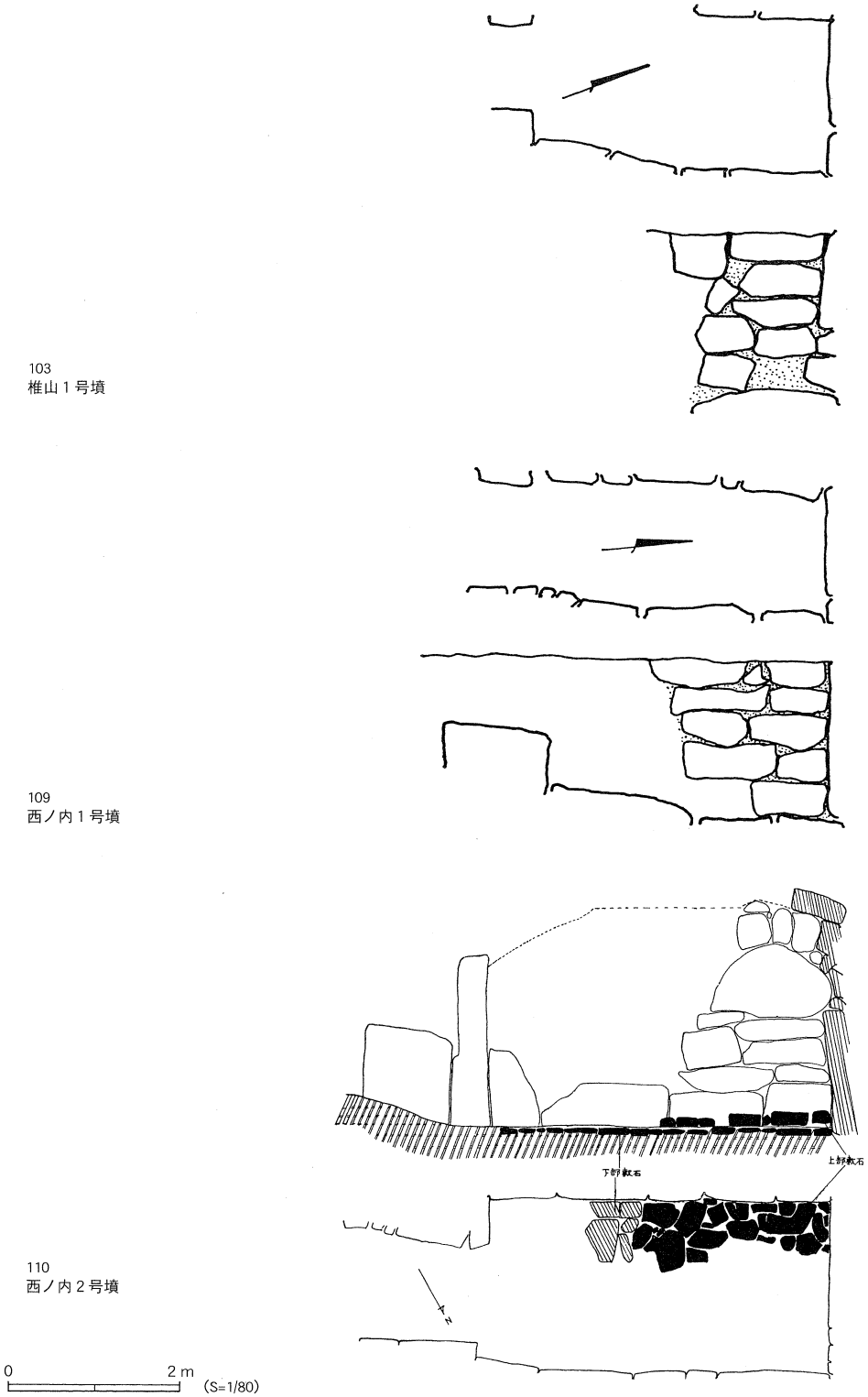


図38　横穴式石室集成25

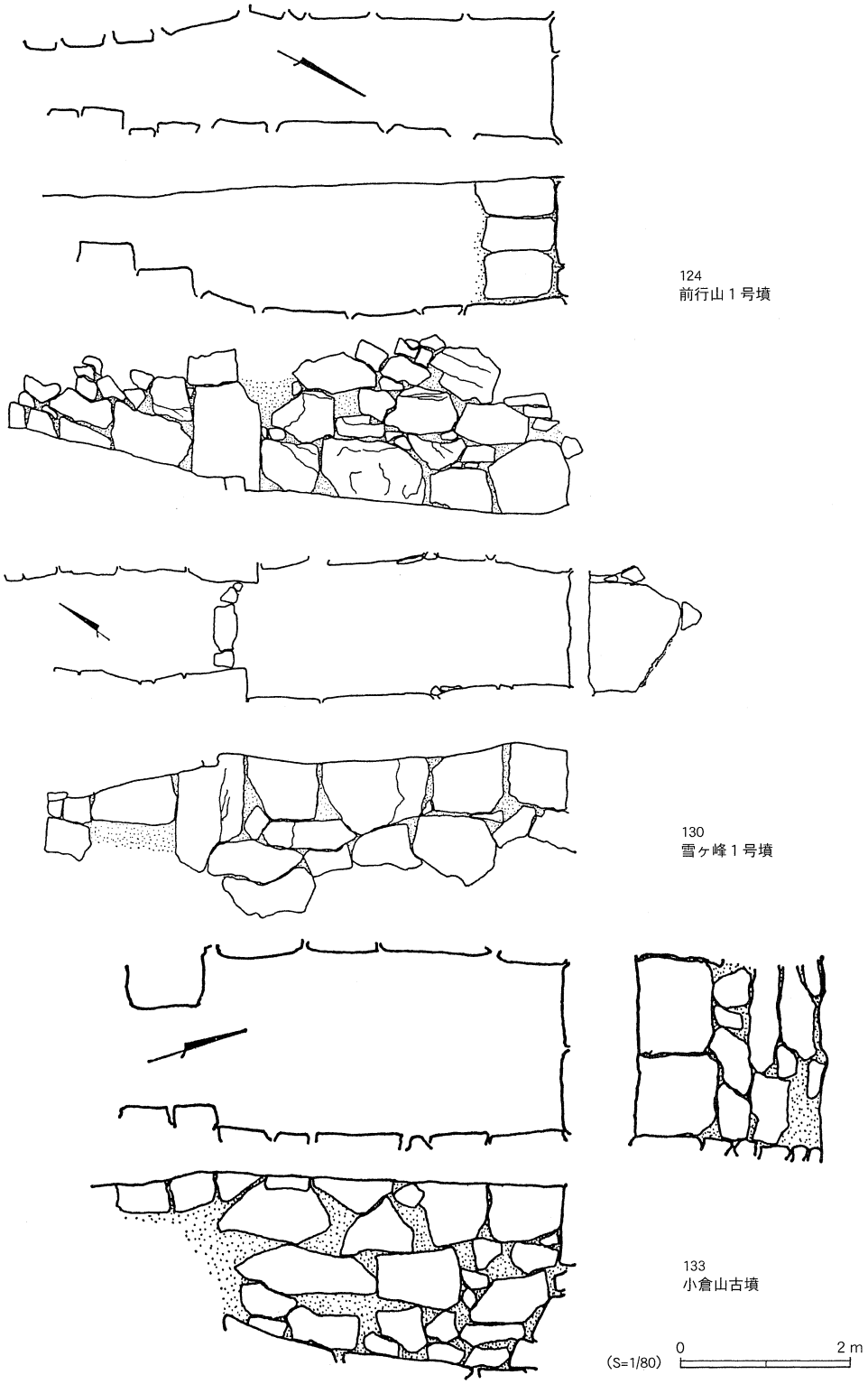
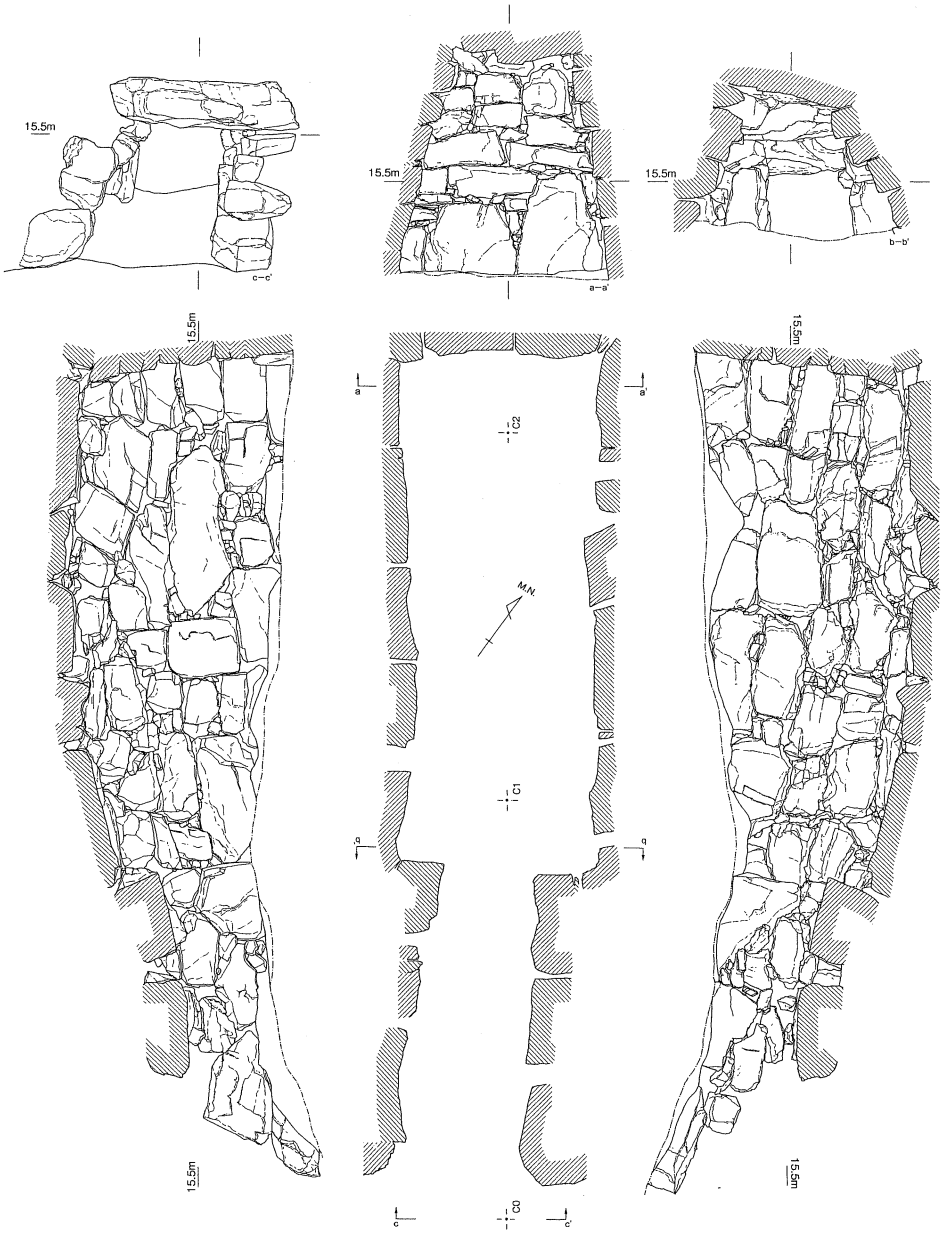


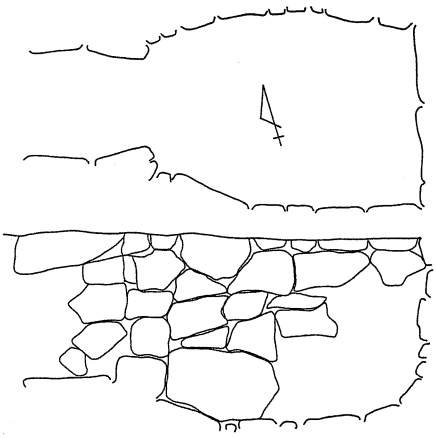
図39　横穴式石室集成26



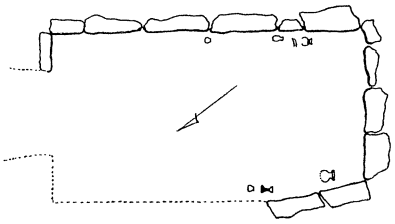
139
明見彦山１号墳

0　2 m
(S=1/80)

図40　横穴式石室集成27



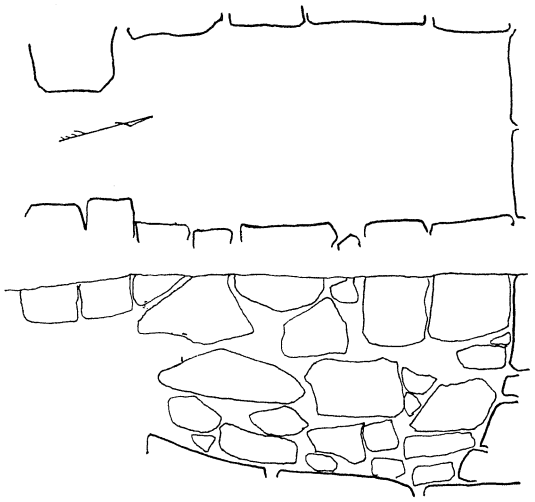
141
明見彦山３号墳



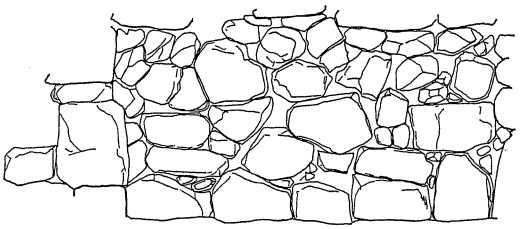
144
狸岩３号墳

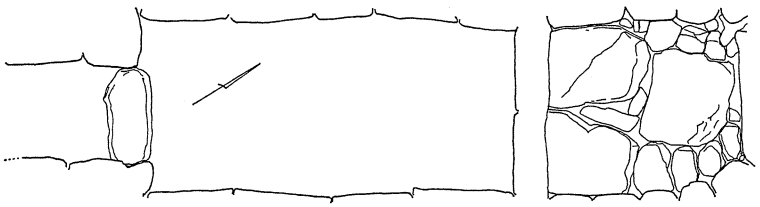
0　2 m
(S=1/80)

図41　横穴式石室集成28



162
丸山古墳

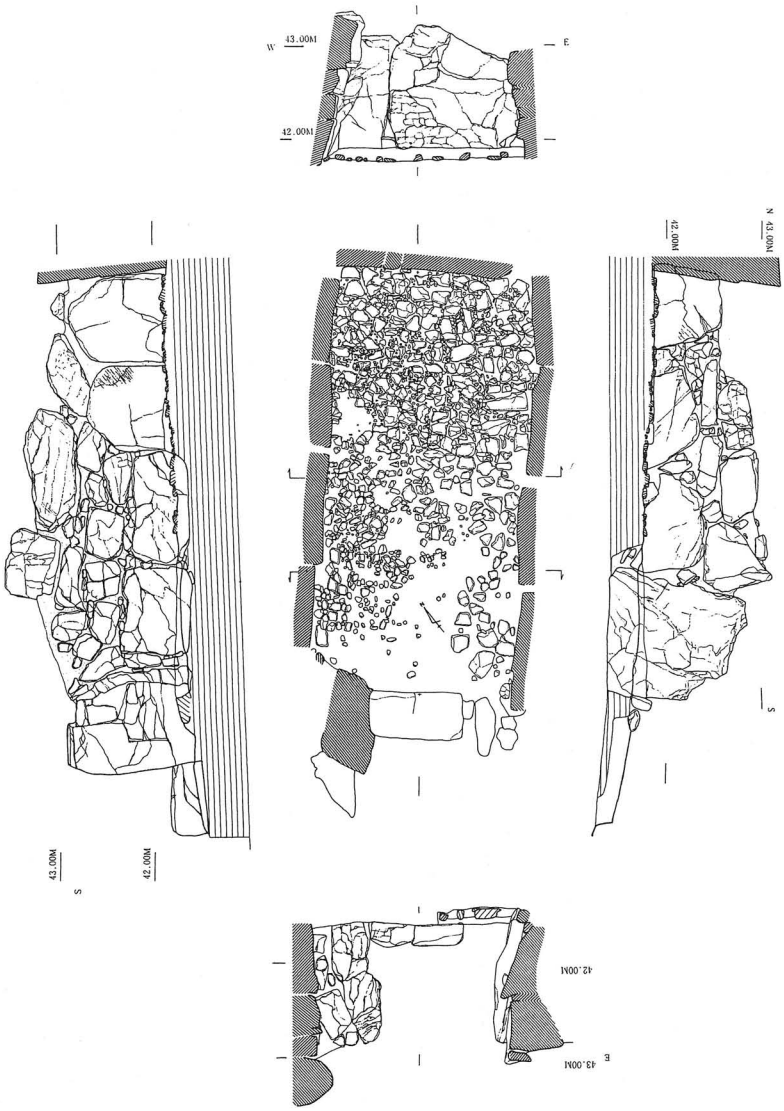




169
溝淵山古墳

0　2 m
(S=1/80)

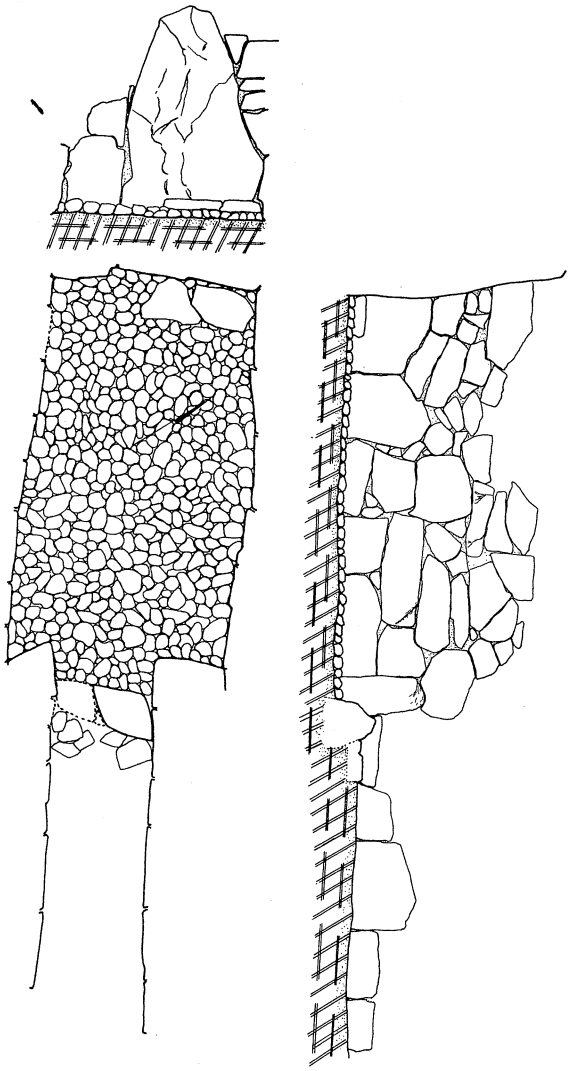
図42　横穴式石室集成29



168
大谷古墳

(S=1/80)　0　2 m

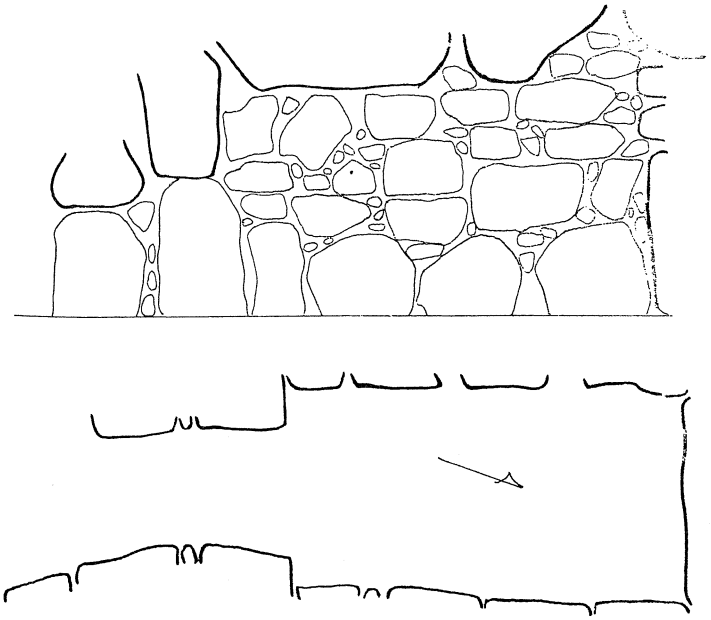
図43　横穴式石室集成30



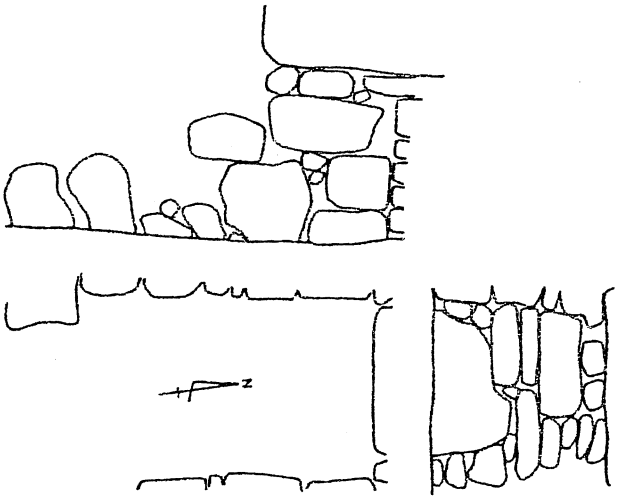
191
古津賀古墳

0　2 m
(S=1/80)

図44　横穴式石室集成31



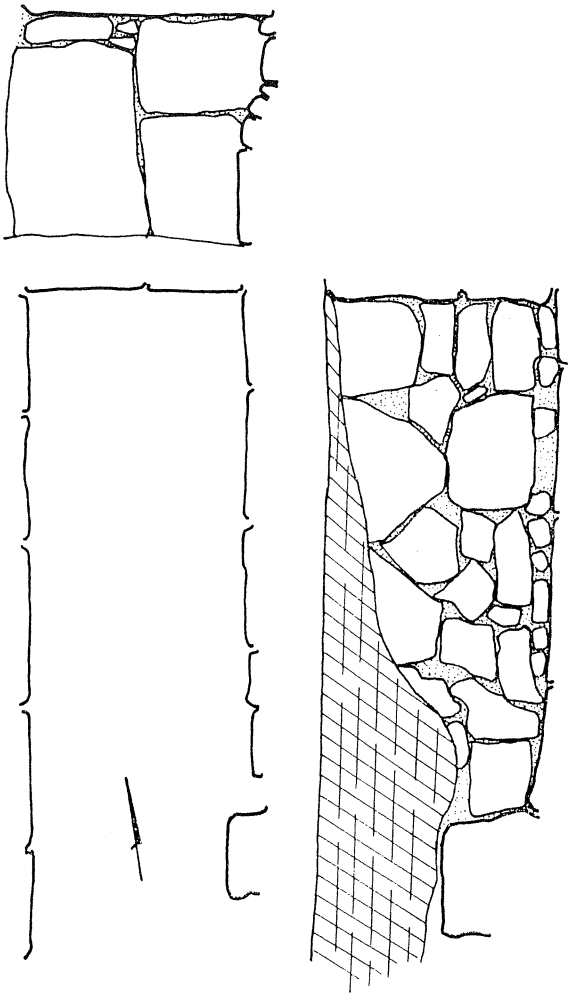
194
秦泉寺開古墳（020吉弘古墳）



195
丸山３号墳

(S=1/80)　0　2 m

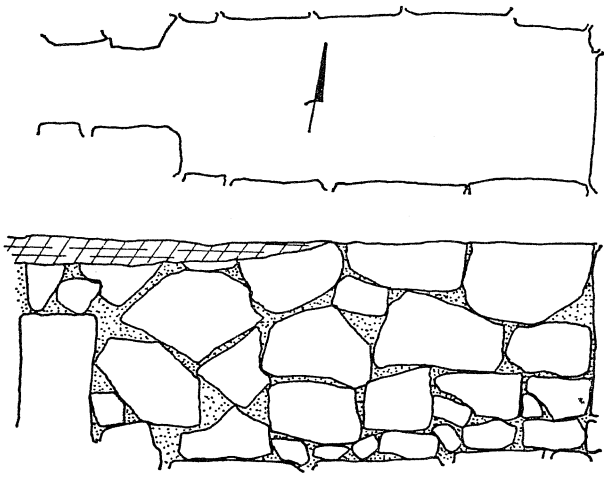
図45　横穴式石室集成32



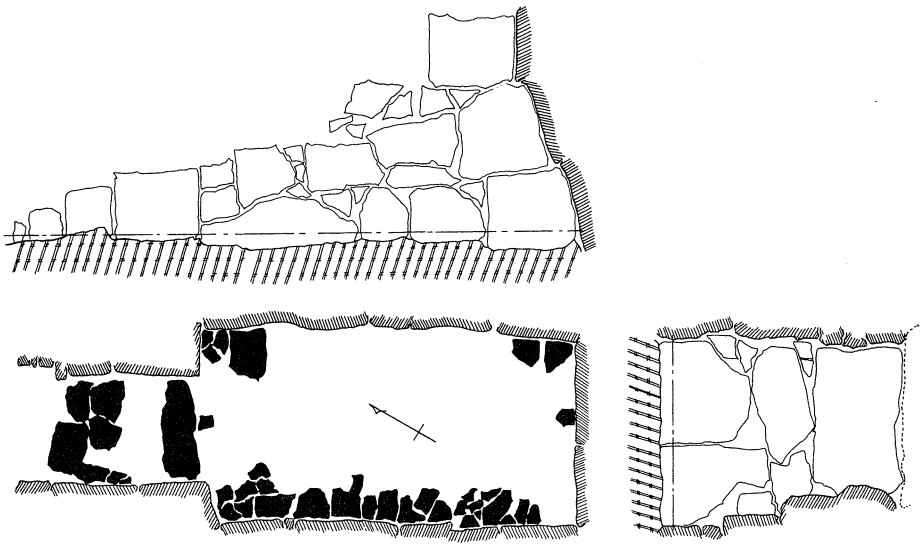
197
舟岡山３号墳

0　2 m
(S=1/80)

図46　横穴式石室集成33



198
上方古墳



201
高松古墳（久礼田高松古墳）

0　2 m
（S=1/80）

図47　横穴式石室集成34

挿図出典

002　伊野町教育委員会（編）1985『枝川古墳群』伊野町教育委員会
003　伊野町教育委員会（編）1985『枝川古墳群』伊野町教育委員会
004　伊野町教育委員会（編）1985『枝川古墳群』伊野町教育委員会
005　廣田佳久1995「高知の横穴式石室」『四国における横穴式石室の成立と展開』古代学協会四国支部第９回徳島大会資料　古代学協会四国支部
008　高知大学人文学部考古学研究室（編）2005『朝倉古墳測量調査報告書』高知大学人文学部考古学研究室
009　岡本健児・廣田典夫・宅間一之1980『塚の原古墳群』高知市文化財調査報告書第２集　高知市教育委員会
011　岡本健児1966『高知県の考古学』吉川弘文館
024　岡本健児・西川義敏・藤原志津子「高知市秦泉寺古墳群と久万出土の古銭について」『高知小津高等学校研究誌』2　高知県立高知小津高等学校
028　廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書１
029　廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書１
030　廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書１
031　廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書１
035　廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書１
036　廣田典夫1967『とさ高間原古墳群』四国考古学叢書１
040　岡本健児・廣田典夫1969「小奈路古墳とその遺物」『土佐史談』復刊44号　土佐史談会
041　岡本健児1966『高知県の考古学』吉川弘文館
043　廣田佳久1995「高知の横穴式石室」『四国における横穴式石室の成立と展開』古代学協会四国支部第９回徳島大会資料　古代学協会四国支部
046　岡本健児1986『高知県史』考古編　高知県
050　高知県文化財団埋蔵文化財センター（編）1996『長畝古墳群』高知県文化財団埋蔵文化財センターより再トレースの上一部改変
051a　高知県文化財団埋蔵文化財センター（編）1996『長畝古墳群』高知県文化財団埋蔵文化財センターより再トレースの上一部改変
051b　高知県文化財団埋蔵文化財センター（編）1996『長畝古墳群』高知県文化財団埋蔵文化財センターより再トレースの上一部改変
053　高知大学人文学部考古学研究室（編）2006『南国市における大型後期古墳の調査』高知大学人文学部考古学研究室
060　廣田典夫1979「南国市蒲原山東一号・二号古墳の調査概報」『高知県文化財調査報告書』22　高知県教育委員会
061　廣田典夫1979「南国市蒲原山東一号・二号古墳の調査概報」『高知県文化財調査報告書』22　高知県教育委員会
065　高知県教育委員会（編）1974『口ミノヲ谷古墳』高知県教育委員会・日本道路公団
073　岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
074　岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
075　岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
076　岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
078　岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
080　岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会

081 岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
082 岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
083 岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
084 岡本健児1968『舟岩古墳群』高知県文化財調査報告書第15集　高知県教育委員会
086 岡本健児1968『高知県史』考古編　高知県
087 岡本健児1968『高知県史』考古編　高知県
092 森田尚宏1989『蔵本２号墳』南国市埋蔵文化財調査報告書第８集　南国市教育委員会より再トレースの上一部改変
097 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
103 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
105 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
109 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
110 岡本健児1958「高知県香美郡土佐山田町西ノ内二号墳発掘調査報告」『高知県文化財調査報告書』第９集　高知県教育委員会
124 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
130 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
133 土佐山田町史編纂委員会（編）1979『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会
139 高知大学人文学部考古学研究室（編）2006『南国市における大型後期古墳の調査』高知大学人文学部考古学研究室
141 岡本健児1966『高知県の考古学』吉川弘文館
144 岡本健児1965「南国市狸岩三号古墳とその出土遺物について」『高知小津高等学校研究誌』第４号　高知県立高知小津高等学校
162 岡本健児1968『高知県史』考古編　高知県
168 高知県埋蔵文化財センター（編）1991『大谷古墳』高知県文化財団埋蔵文化財センター
169 野市町史編纂委員会（編）1992『野市町史』野市町
191 廣田典夫1975『古津賀古墳』中村市教育委員会
194 岡本健児・西川義敏・藤原志津子「高知市秦泉寺古墳群と久万出土の古銭について」『高知小津高等学校研究誌』2　高知県立高知小津高等学校
195 廣田佳久1995「高知の横穴式石室」『四国における横穴式石室の成立と展開』古代学協会四国支部第９回徳島大会資料　古代学協会四国支部
197 廣田典夫1979「後期古墳時代」『南国市史』上巻　南国市
198 岡本健児1968『高知県史』考古編　高知県
201 岡本健児ほか1964「南国市久礼田高松古墳」『高知県文化財調査報告書』第14集　高知県

高知県後期古墳資料集Ⅰ

－高知大学考古学調査研究報告第７冊－

2009年３月発行

編集　高知大学人文学部考古学研究室
発行　〒780-8520　高知市曙町２－５－１

印刷　有限会社　西村謄写堂